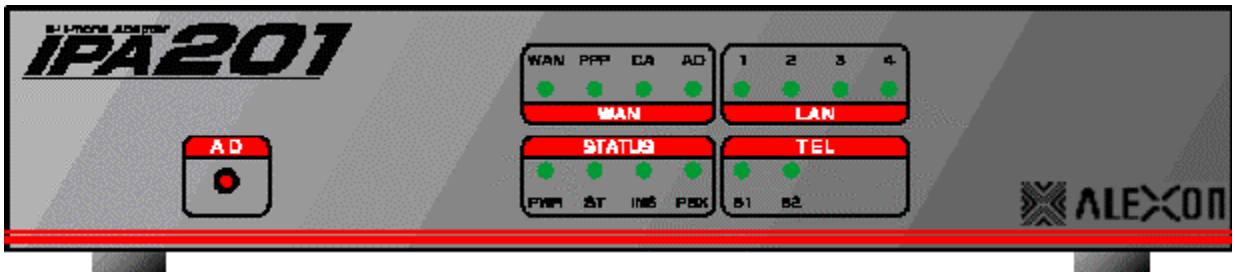
IPA201

管理者モード説明書



ALEXON

目　次

1 概　要 1

2 詳細設定するには 2

2-1 ＷＥＢ設定を使用する 2
2-2 かんたん設定 3
2-3 高度な設定 3
2-3-1 ＩＰフィルターの設定 4
2-3-1-1 ＩＰフィルターの追加 6
2-3-1-2 ＩＰフィルターの削除 7
2-3-1-3 ＩＰフィルターの編集 8
2-3-1-4 ＩＰフィルターのコピー 9
2-3-1-5 ＩＰフィルタールールの順位を下げる １０
2-3-1-6 ＩＰフィルターの順位を上げる １１
2-3-2 ＷＥＢ設定パスワードの変更 １２
2-3-3 時刻の設定（ＳＮＴＰクライアント） １３
2-3-4 ＬＡＮポートの設定 １４
2-3-5 ＤＨＣＰサーバーの設定 １６
2-3-6 スタティックルートの設定 １７
2-3-7 ＮＡＴの設定（IP マスカレード・ポートマッピング） １８
2-3-8 カスケード接続（ＩＰ電話を複数番号使用するには） ２０
2-3-8-1 接続方法 ２０
2-3-8-2 親機の設定方法 ２２
2-3-8-2 子機 1～3 の設定方法 ２３
2-3-8-3 ご利用にあたって ２４
2-3-8 ＳＩＰ－音量の調整 ２５
2-3-9 ＳＩＰ－回線選択テーブルの設定 ２６
2-3-9-1 プリフィックスの設定 ２６
2-3-9-2 回線選択テーブルへ追加 ２７
2-3-9-3 回線選択テーブルの削除 ２７
2-3-10 ＳＩＰ－ＱｏＳの設定 ２８
2-3-10-1 ＱｏＳの設定 ２８
2-3-10-2 上り帯域の設定 ２９
2-4 メンテナンス ３０
2-4-1 システムログ ３０
2-4-2 Ping のテスト ３１
2-4-3 オートダウンロード ３２
2-4-4 装置の再起動 ３３

2-4-5 設定の初期化 **３４**
2-4-6 設定ファイルの書き込み／取得 **３５**
2-4-6-1 設定ファイルの書き込み **３６**
2-4-6-2 設定ファイルの取得 **３７**
2-5 ＳＩＰ ＵＡ-ＵＡテスト ３８

1 概　要

本書は IPA201 専用設置説明書です。取扱説明書に記載していない詳細な設定について記載しています。取扱説明書と合わせてご利用ください。

ご注意

- この説明書に記載している専門用語を充分ご理解の上でご利用下さい。不用意に設定されますと、設定内容が不適切な場合、通信不能や設定不能になる事があります。
- 新たな設定で、通信不能になった場合は、設定を元に戻して設定の誤りをお調べください。
- 新たな設定で、設定不能になった場合は、本機背面の「初期化スイッチ」を押しながら電源を入れて、全設定を初期化してから改めて設定をやり直してください。
- ＩＰ通話中にデータ通信を行うと、ＩＰ電話の音声品質が保てなくなることが有ります。その場合は、「2-3-10 ＱｏＳの設定」をご参照ください。

2 詳細設定するには

本機で詳細な設定内容を変更するにはパソコンからInternet Explorer（5.0以降）を使って「管理者用のログイン」で設定する必要があります。

設定での入力は半角で大文字・小文字をご確認の上　正しく入力を御願いします。

（注意：仕様の変更により説明書のWeb画面と多少異なる事がございます。）

2-1 ＷＥＢ設定を使用する

１．パソコンよりInternet Explorer（５．０以降）アイコンをダブルクリックします。

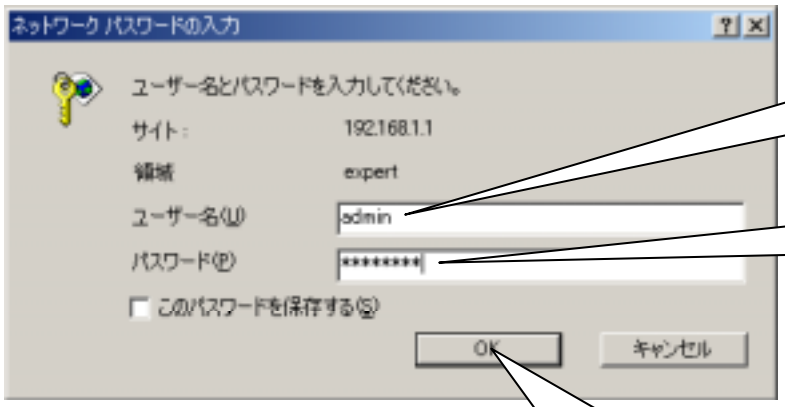
このアイコンをダブルクリックします。

２．ＵＲＬフィールドに本機のIPアドレス「192.168.1.1/Exp」を入力し、Enterキーを押します。

http://192.168.1.1/Exp
を入力します。

３．ユーザ名とパスワードを入力して、「ＯＫ」ボタンをクリックします。

ユーザ名　：ａｄｍｉｎ
パスワード：ａｄｍｉｎｉｓｔ



①ユーザー名を入力します。

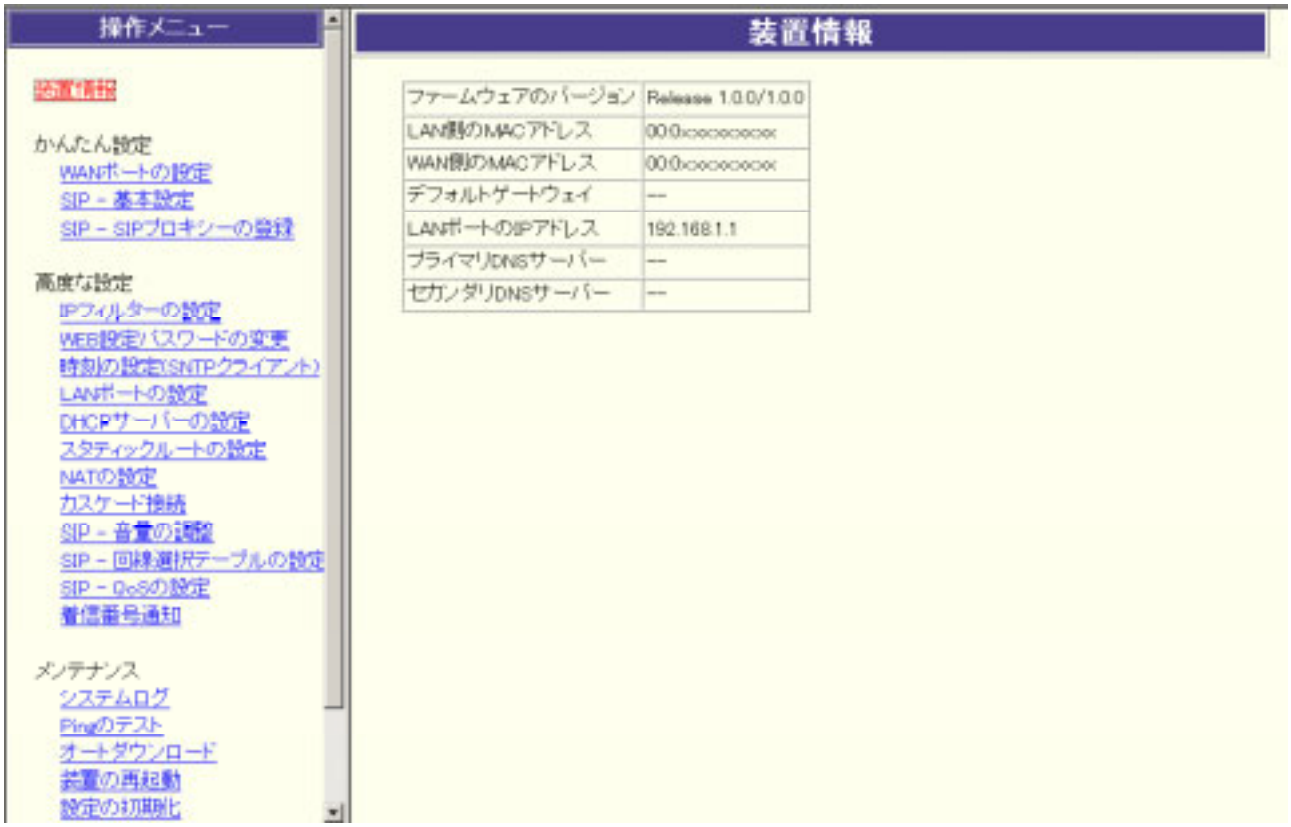
②パスワードを入力します。

③「ＯＫ」ボタンをクリックします。

ワンポイント

- パスワードを変更するには、ＷＥＢ設定で「高度な設定」→「ＷＥＢ設定パスワードの変更」→「パスワードの変更」。パスワードは最小１文字、最大１５文字半角英数字です。大文字小文字の区別します。
- ユーザー名は変更できません。

４．正しくユーザ名とパスワードを入力しますと、Web設定画面が表示されます。



2-2 かんたん設定

「かんたん設定」は、IPA201 取扱説明書の「8 本機を設定するには」をご参照ください。

2-3 高度な設定

設定項目には、下記項目があります。

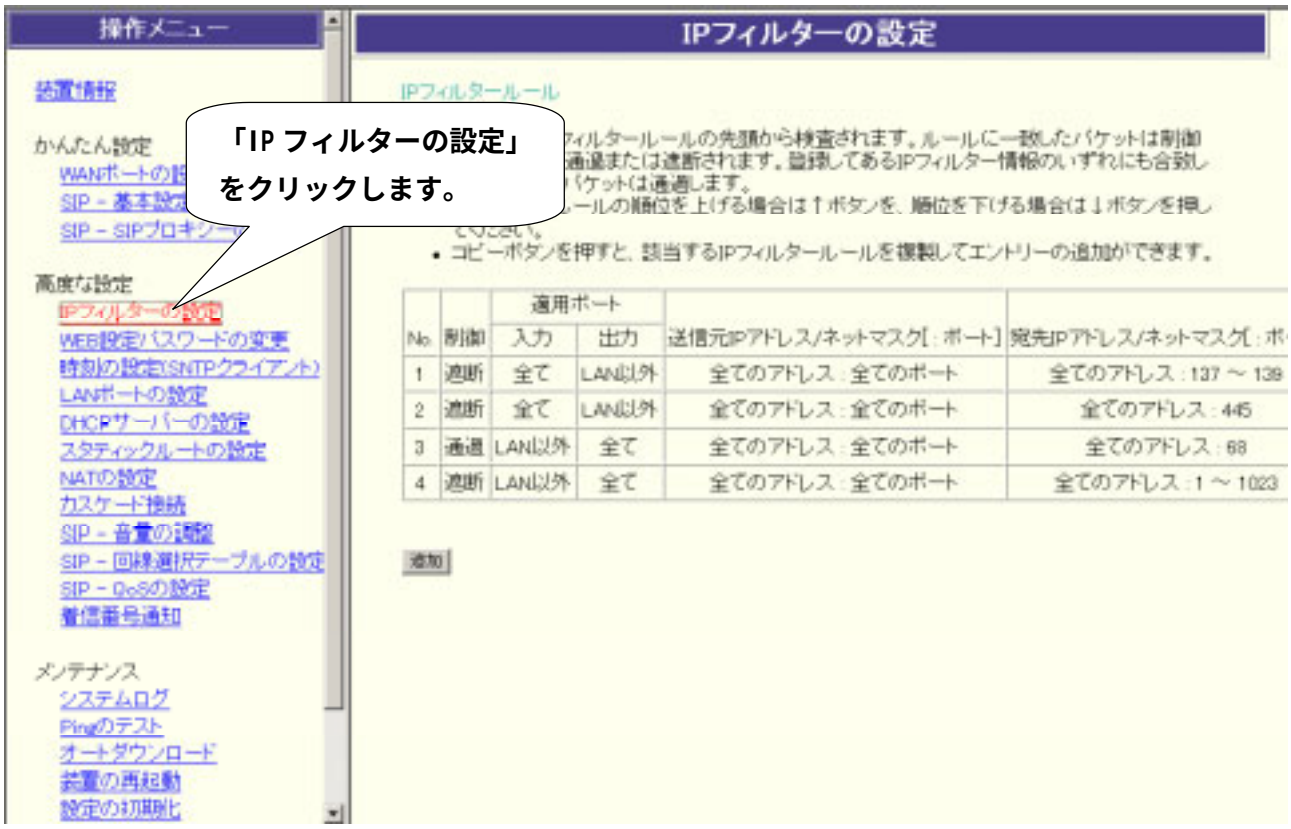
- ＩＰフィルターの設定
- ＷＥＢ設定パスワードの変更
- 時刻の設定（ＳＮＴＰクライアント）
- ＬＡＮポートの設定
- ＤＨＣＰサーバーの設定
- スタティックルートの設定
- ＮＡＴの設定
- カスケード接続
- ＳＩＰ－音量の設定
- ＳＩＰ－回線選択テーブルの設定
- ＳＩＰ－ＱｏＳの設定
- 着信番号通知

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

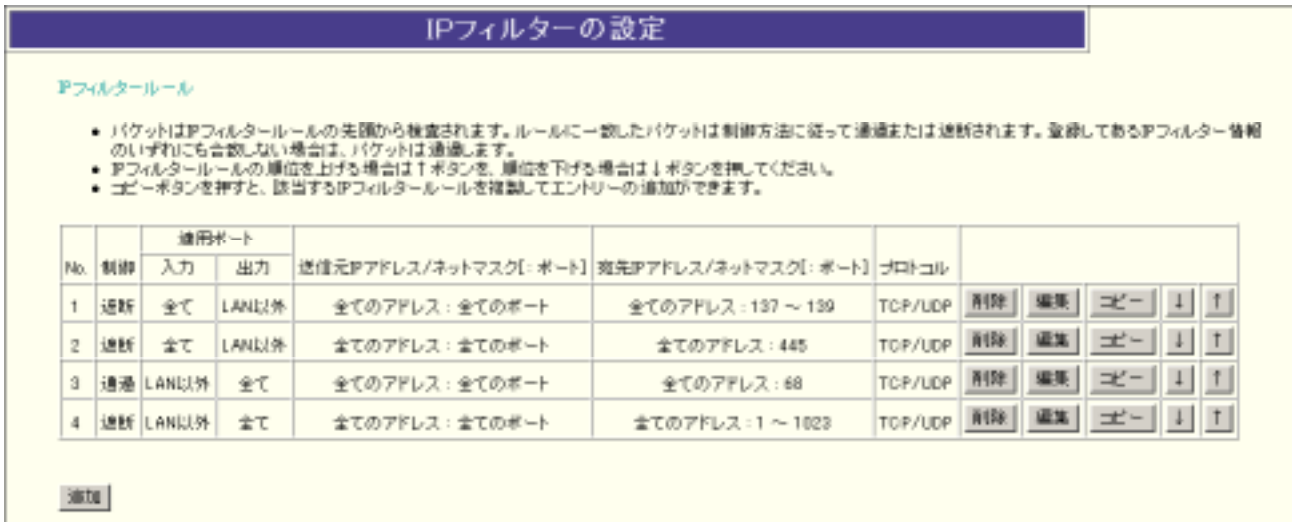
2-3-1 ＩＰフィルターの設定

不用意なトラブルやセキュリティの確保の為に、IP フィルターの設定を行います。
フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合がありますのでご注意ください。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「IP フィルターの設定」をクリックします。
2. 「IP フィルタールール」画面が表示されます。



3. 「ＩＰフィルタールール」には、「追加」「削除」「編集」「コピー」「↓」「↑」の項目があります。



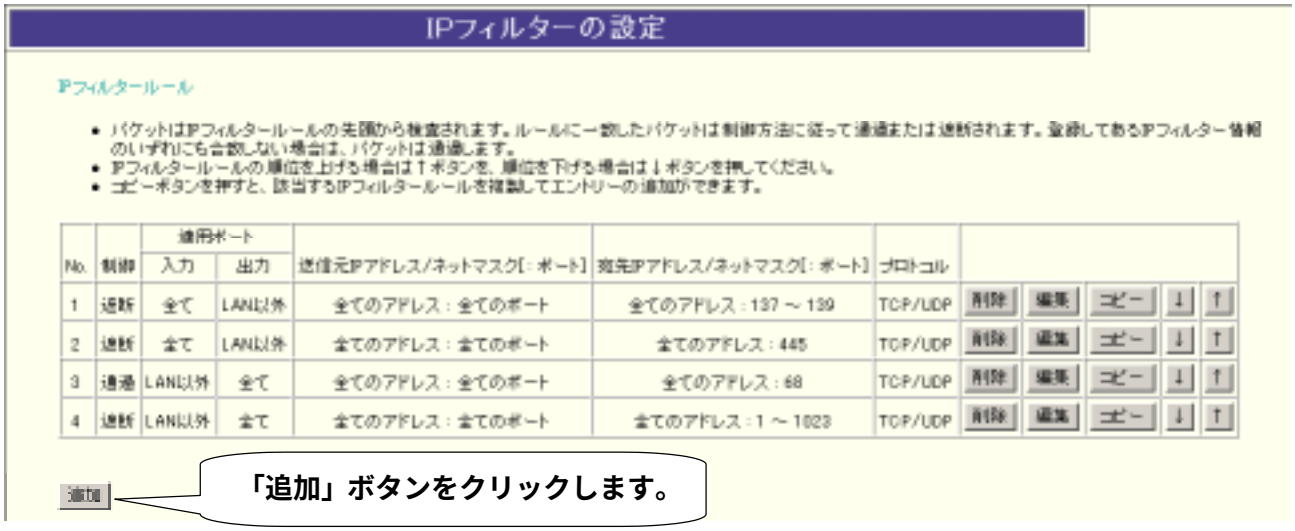
ご注意

- パケットはＩＰフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるＩＰフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
- ＩＰフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
- コピーボタンを押すと、該当するＩＰフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。

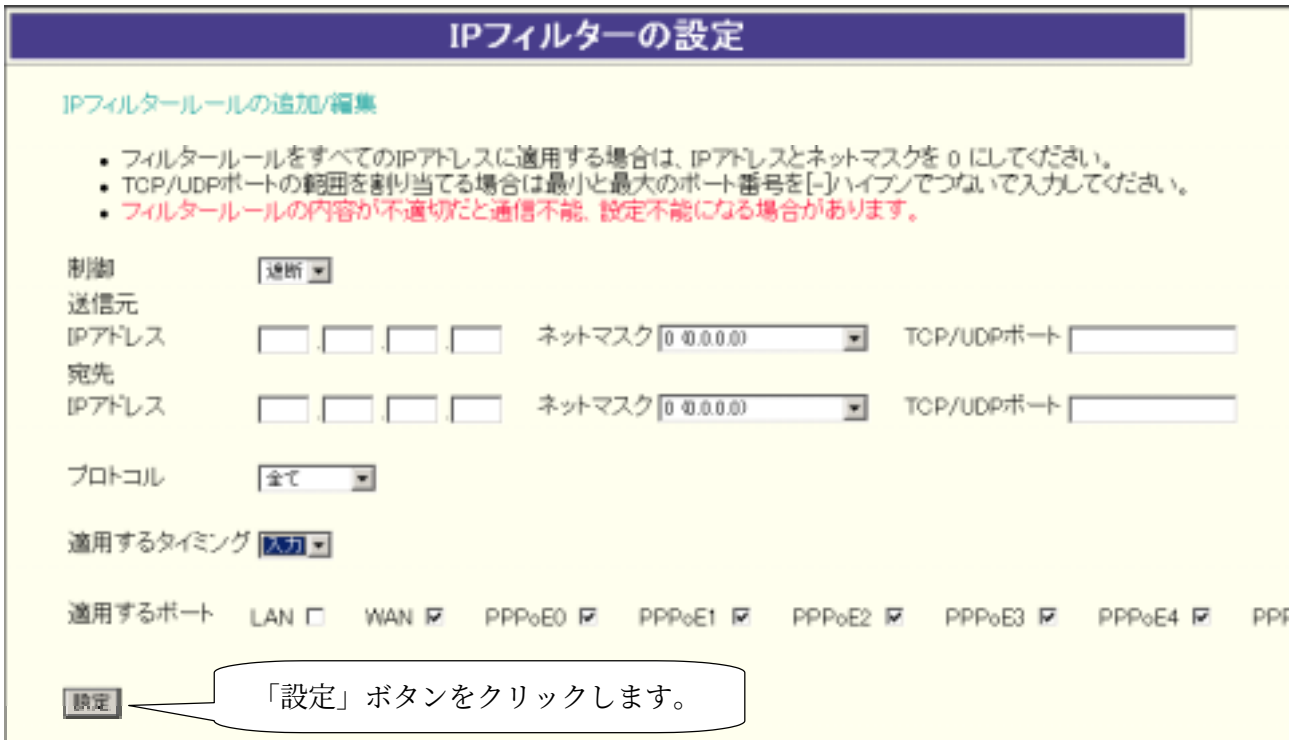
2-3-1-1 ＩＰフィルターの追加

新たに、特定の IP パケットを遮断したり通過させるには、IP フィルターの追加をします。

1. 「ＩＰフィルタールール」の「追加」ボタンをクリックします。


IPフィルターの設定
IPフィルタールール
パケットはIPフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるIPフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。
IPフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を下げる場合は↓ボタンを押してください。
コピーボタンを押すと、該当するIPフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。
No. 制御 適用ポート 入力 出力 送信元IPアドレス/ネットマスク[:ポート] 宛先IPアドレス/ネットマスク[:ポート] プロトコル
1 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス:全てのポート 全てのアドレス:137 ～ 139 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
2 遮断 全て LAN以外 全てのアドレス:全てのポート 全てのアドレス:445 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
3 通過 LAN以外 全て 全てのアドレス:全てのポート 全てのアドレス:68 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
4 遮断 LAN以外 全て 全てのアドレス:全てのポート 全てのアドレス:1 ～ 1023 TCP/UDP 削除 編集 コピー ↓ ↑
追加
「追加」ボタンをクリックします。

2. 「ＩＰフィルタールールの追加／編集」画面が表示されます。
3. 「ＩＰフィルタールールの追加／編集」画面で、以下の設定を行います。
4. 登録が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



[ ] が初期値です。

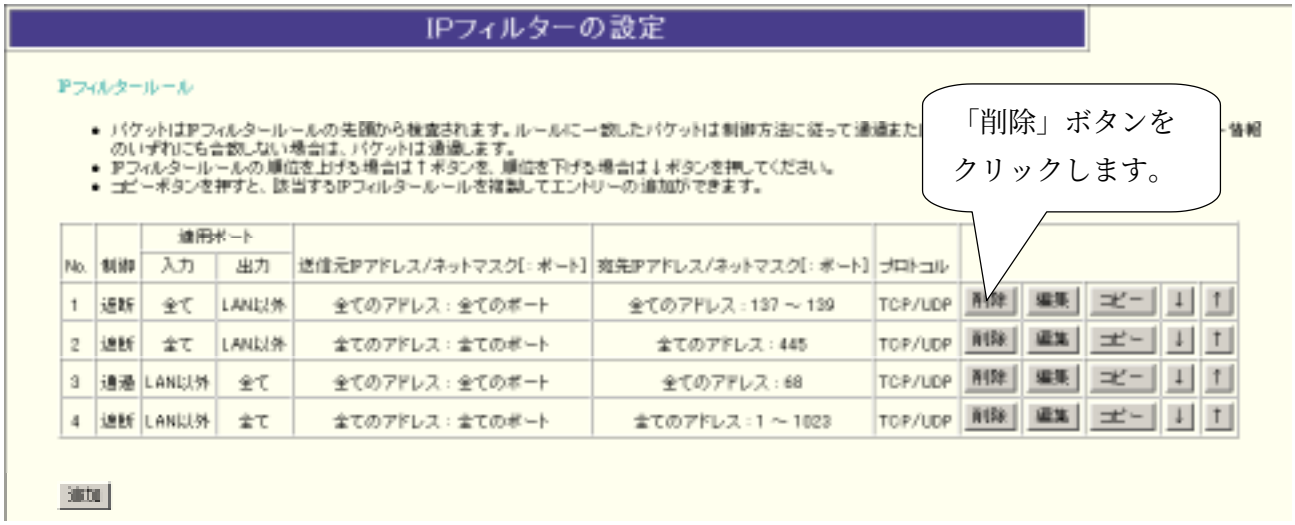
項　目	設　定	内　容
制御	[遮断]	ＩＰパケットのうちで遮断するＩＰパケットを登録します。
	通過	特定のＩＰパケットを通過するＩＰパケットを登録します。
送信元	IP パケット送信元	
ＩＰアドレス	－	ＩＰアドレスを入力します。　設定例　xxx.xxx.xxx.xxx
ネットマスク	[0]-32	0(0.0.0.0)～32(255.255.255.255) ネットマスクを選択します。
TCP/UDP ポート	－	TCP/UDP ポート番号を入力します。(0-65535)
宛先	ＩＰパケット受け取り先	
ＩＰアドレス	－	IP アドレスを入力します。　設定例　xxx.xxx.xxx.xxx
ネットマスク	[0]-32	0(0.0.0.0)～32(255.255.255.255) ネットマスクを選択します。
TCP/UDP ポート	－	TCP/UDP ポート番号を入力します。(0-65535)
プロトコル	[全て] GRE	全て／ICMP／IGMP／TCP／UDP／RSVP／OSPF／TCP/UDP／GRE／指定プロトコルを選択します。
適応する タイミング	[入力]	入力するＩＰパケットを指定します。
	出力	出力するＩＰパケットを指定します。
適応するポート	LAN [PPPoE7]	LAN／[WAN]／[PPPoE0]～[PPPoE7]適応するポートを選択します。

ご注意

- フィルタールールをすべてのＩＰアドレスに適用する場合は、ＩＰアドレスとネットマスクを 0 にしてください。
- ＴＣＰ／ＵＤＰポートの範囲を割り当てる場合は最小と最大のポート番号を[-]ハイフンでつないで入力してください。
- フィルタールールの内容が不適切だと通信不能、設定不能になる場合があります。

2-3-1-2 ＩＰフィルターの削除

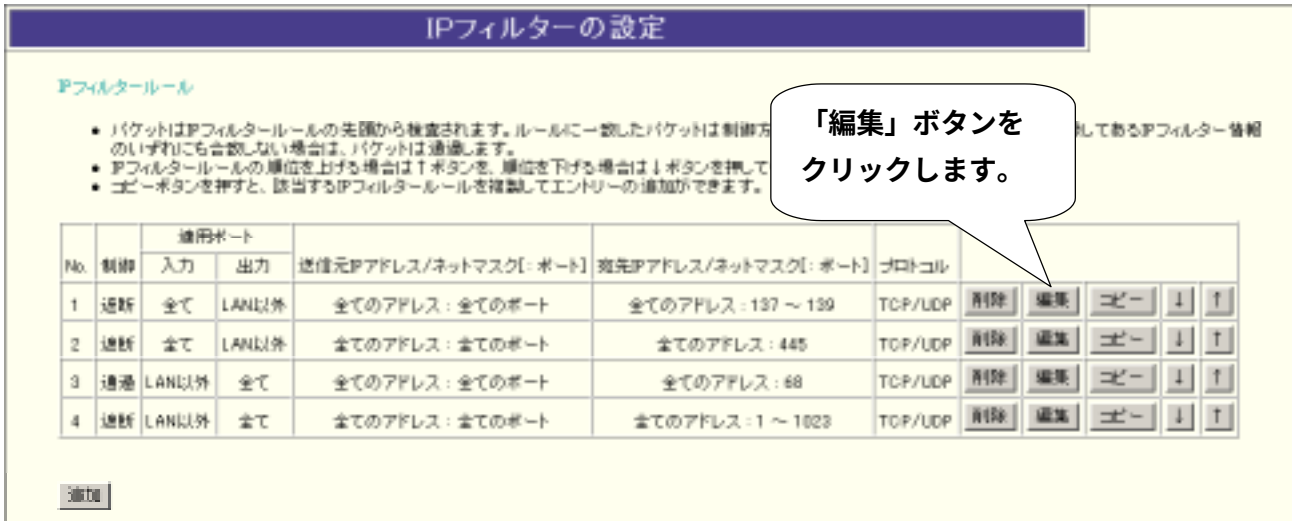
登録済みのＩＰフィルターを削除するには、削除するＩＰフィルターの設定の行にある「削除」ボタンをクリックします。



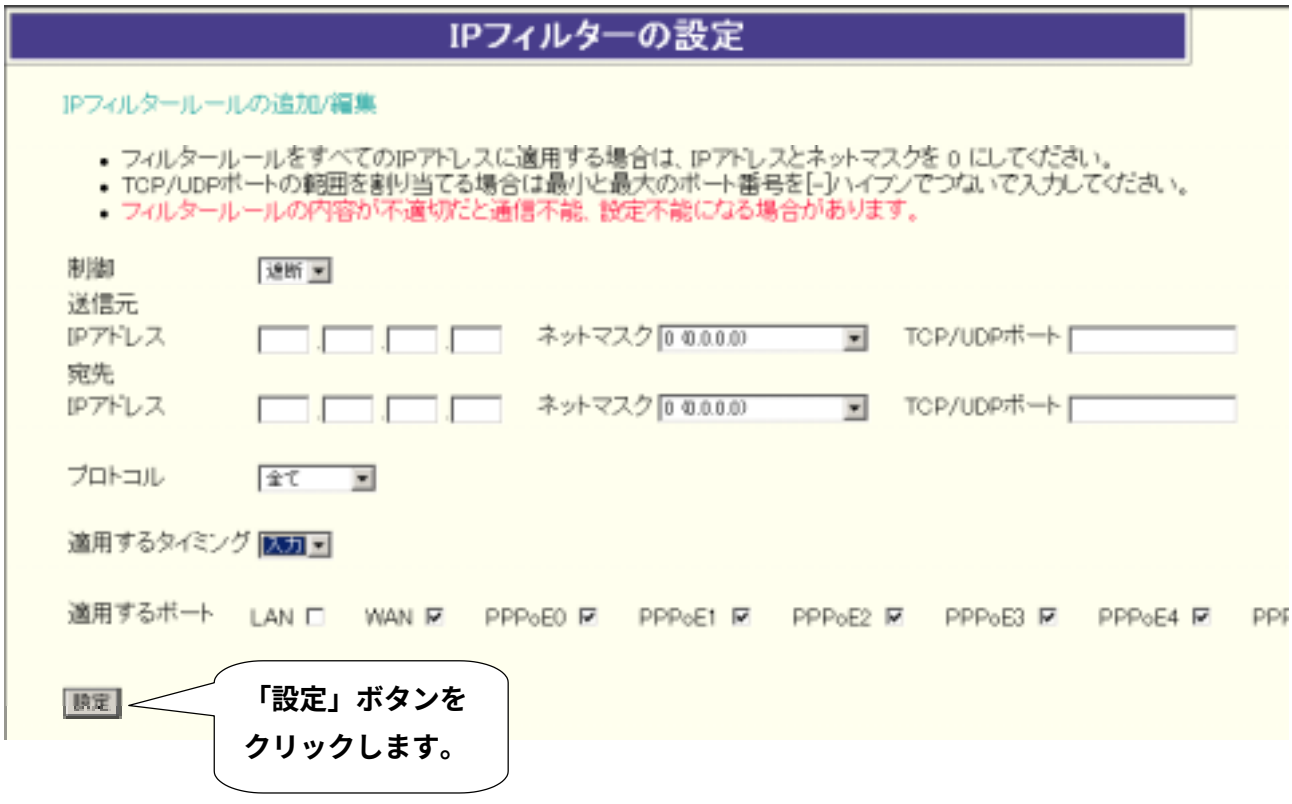
2-3-1-3 ＩＰフィルターの編集

登録済みのＩＰフィルターを変更するには、変更するＩＰフィルターの設定の行にある「編集」ボタンをクリックします。

1. 「ＩＰフィルタールール」の「編集」ボタンをクリックします。



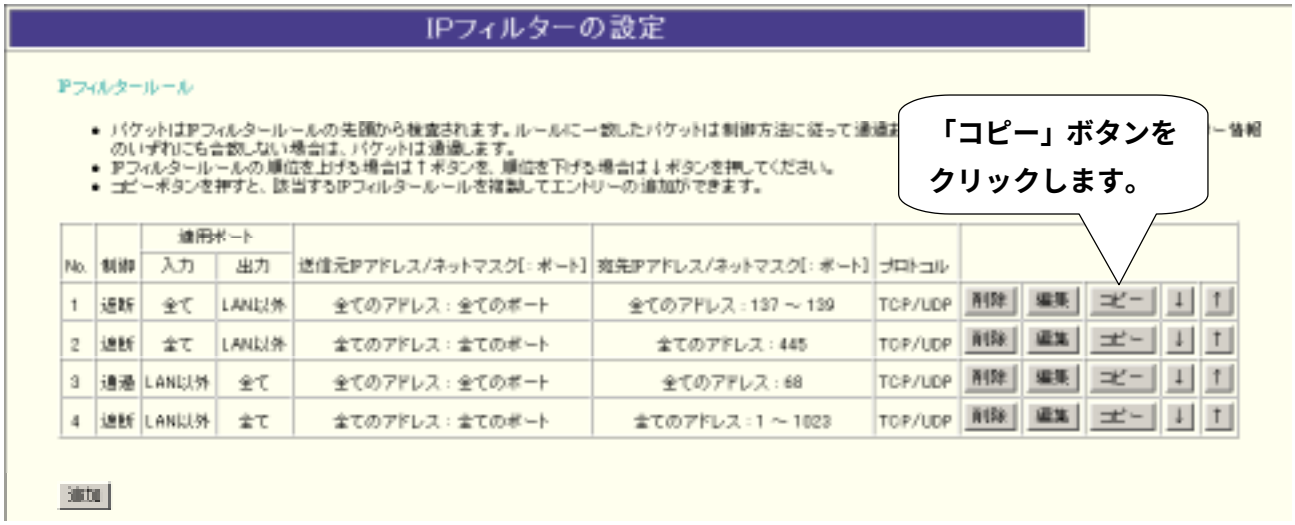
2. 「ＩＰフィルタールールの追加／編集」画面が表示されます。
3. 「ＩＰフィルタールールの追加／編集」画面で、以下の設定を行います。（設定項目の説明は、「2-3-1 ＩＰフィルターの追加」をご参照ください。）
4. 編集が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



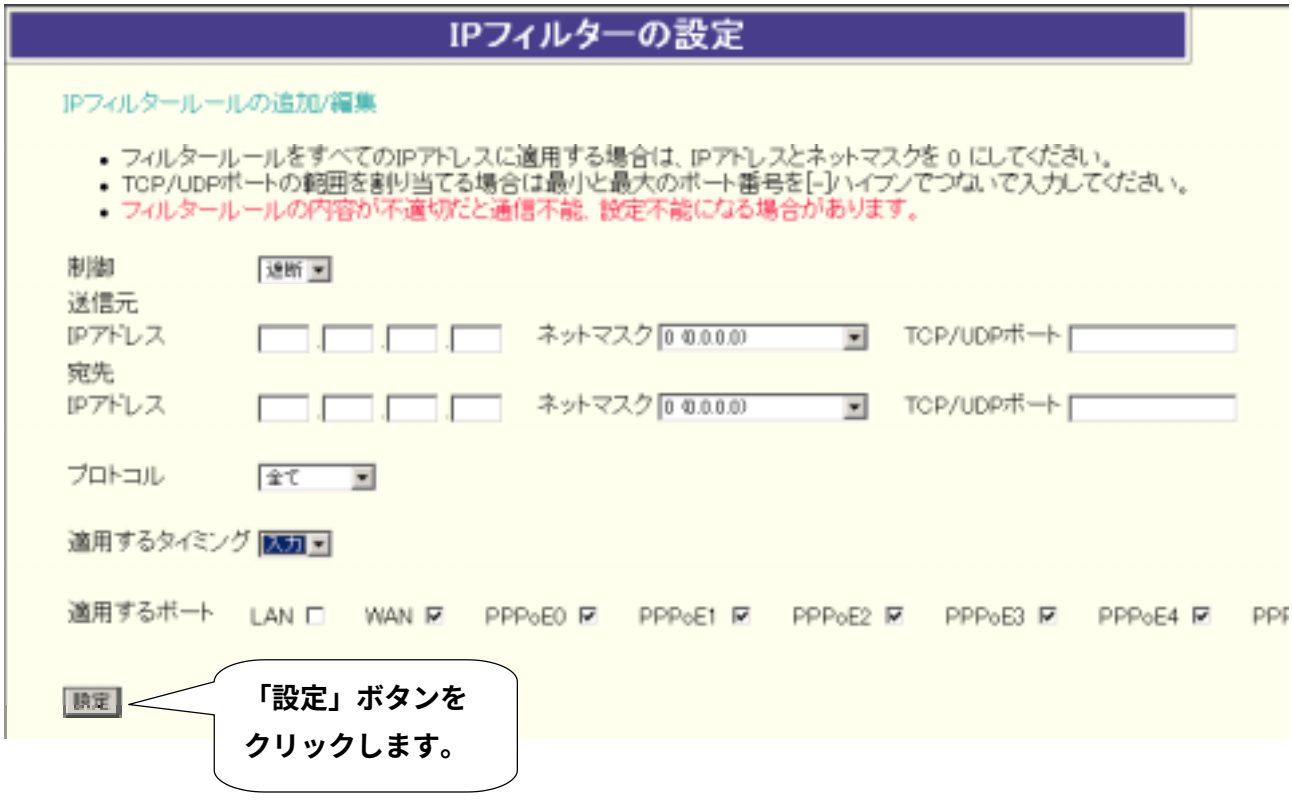
2-3-1-4 ＩＰフィルターのコピー

該当するＩＰフィルタールールを複製してエントリーの追加ができます。コピーするＩＰフィルターの設定の行にある「コピー」ボタンをクリックします。

1. 「ＩＰフィルタールール」の「コピー」ボタンをクリックします。



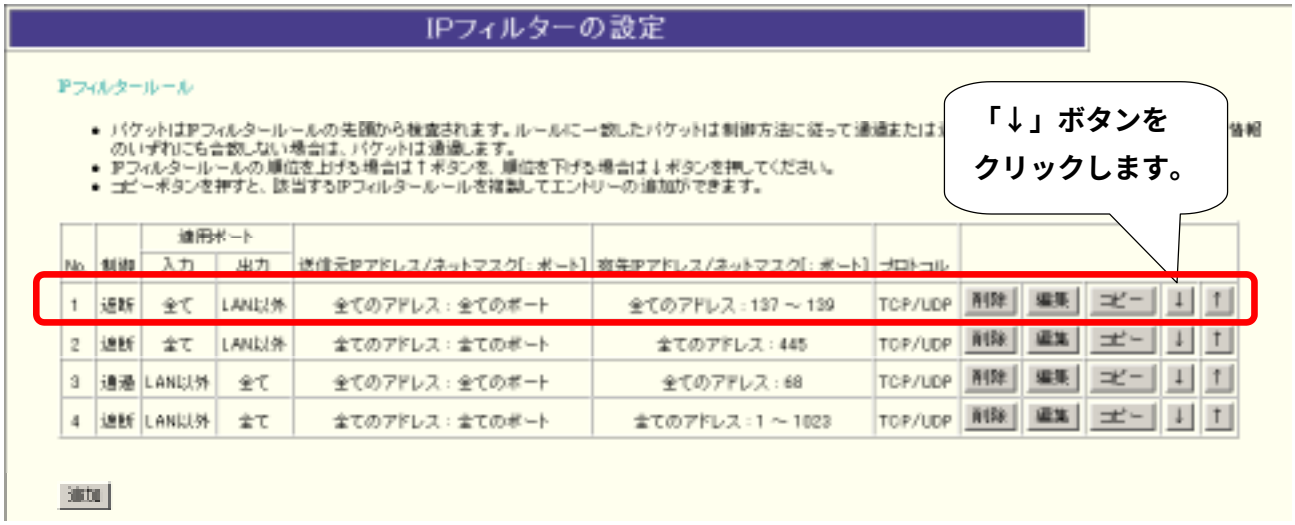
2. 「ＩＰフィルタールールの追加／編集」画面が表示されます。
3. 「ＩＰフィルタールールの追加／編集」画面で、以下の設定を行います。（設定項目の説明は、「2.3.1.1 ＩＰフィルターの追加」をご参照ください。）
4. 編集が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



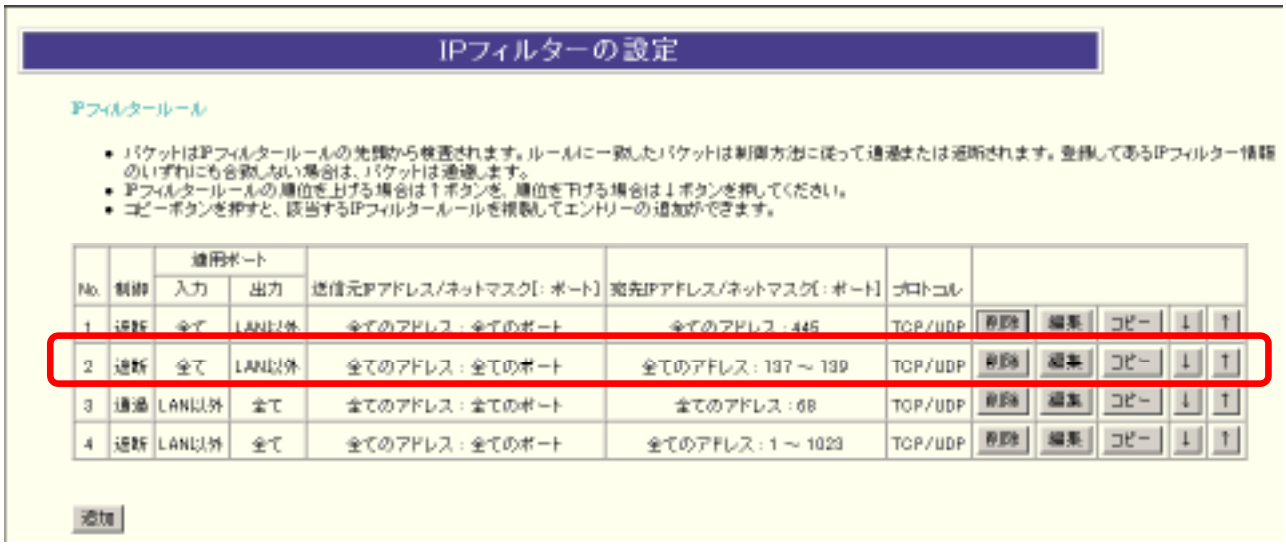
2-3-1-5 ＩＰフィルタールールの順位を下げる

ＩＰフィルタールールの順位を下げる場合は↓ボタンを押します。順位を下げるＩＰフィルターの設定の行にある「↓」ボタンをクリックします。

1. 「ＩＰフィルタールール」の「↓」ボタンをクリックします。



2. 「IP フィルタールール」が移動している事を確認します。



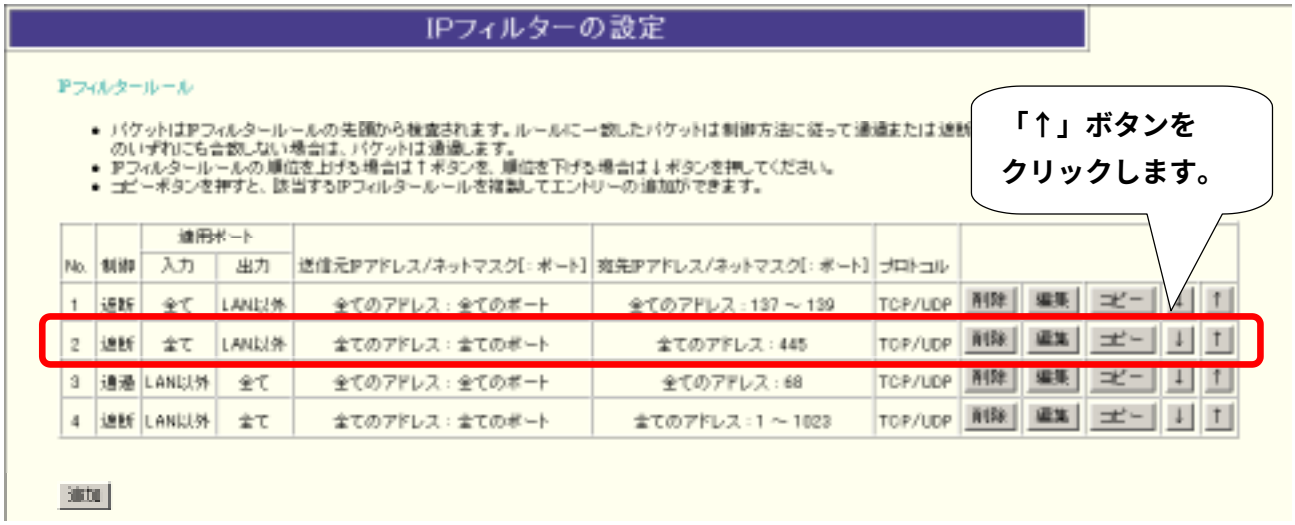
ご注意

- パケットはＩＰフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるＩＰフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。

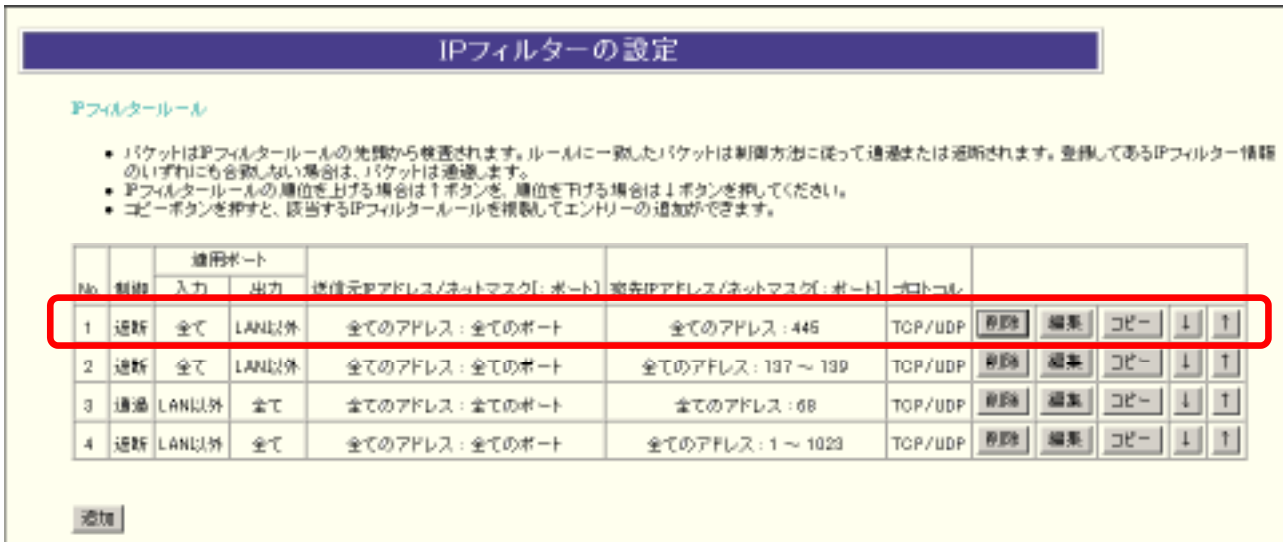
2-3-1-6 ＩＰフィルターの順位を上げる

ＩＰフィルタールールの順位を上げる場合は↑ボタンを、順位を上げるＩＰフィルターの設定の行にある「↑」ボタンをクリックします。

1.「ＩＰフィルタールール」の「↑」ボタンをクリックします。



2.「ＩＰフィルタールール」が移動している事を確認します。



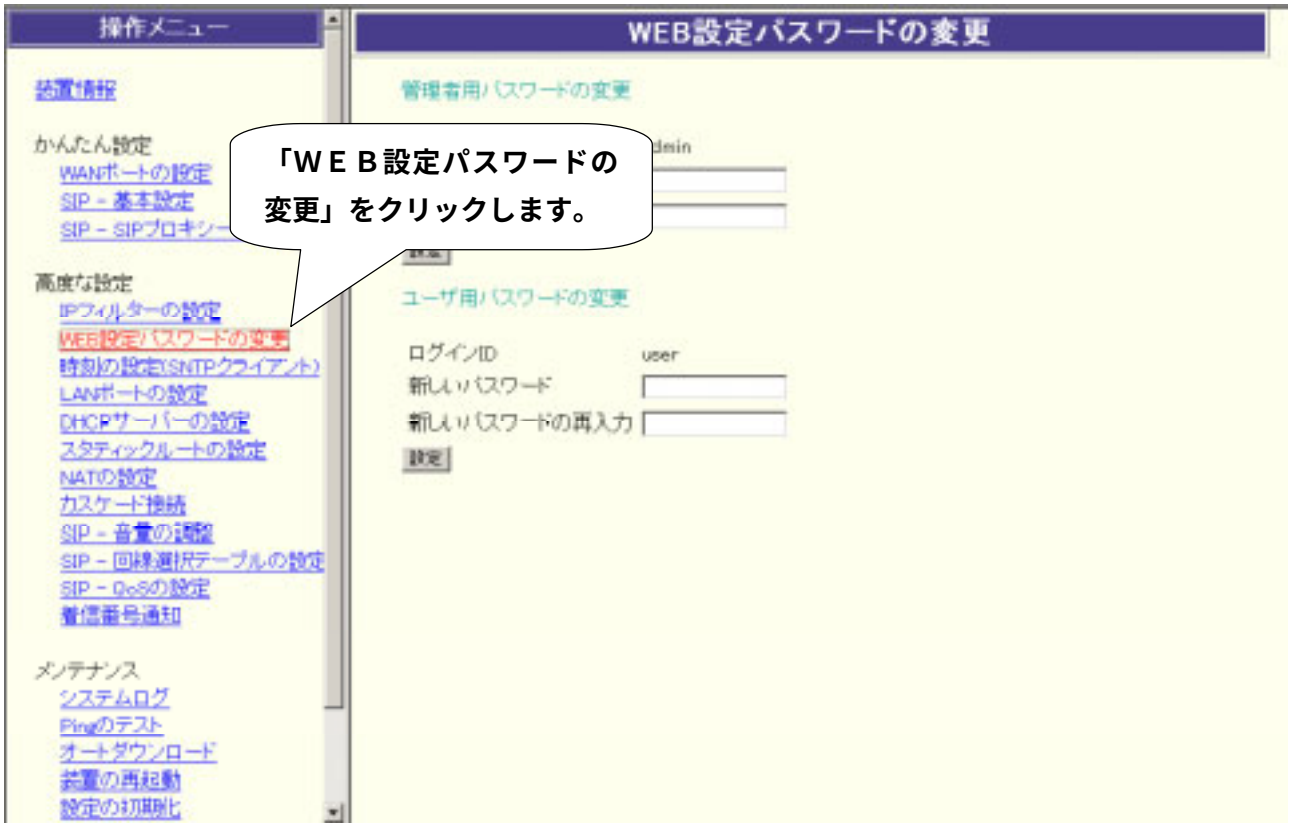
ご注意

- パケットはＩＰフィルタールールの先頭から検査されます。ルールに一致したパケットは制御方法に従って通過または遮断されます。登録してあるＩＰフィルター情報のいずれにも合致しない場合は、パケットは通過します。

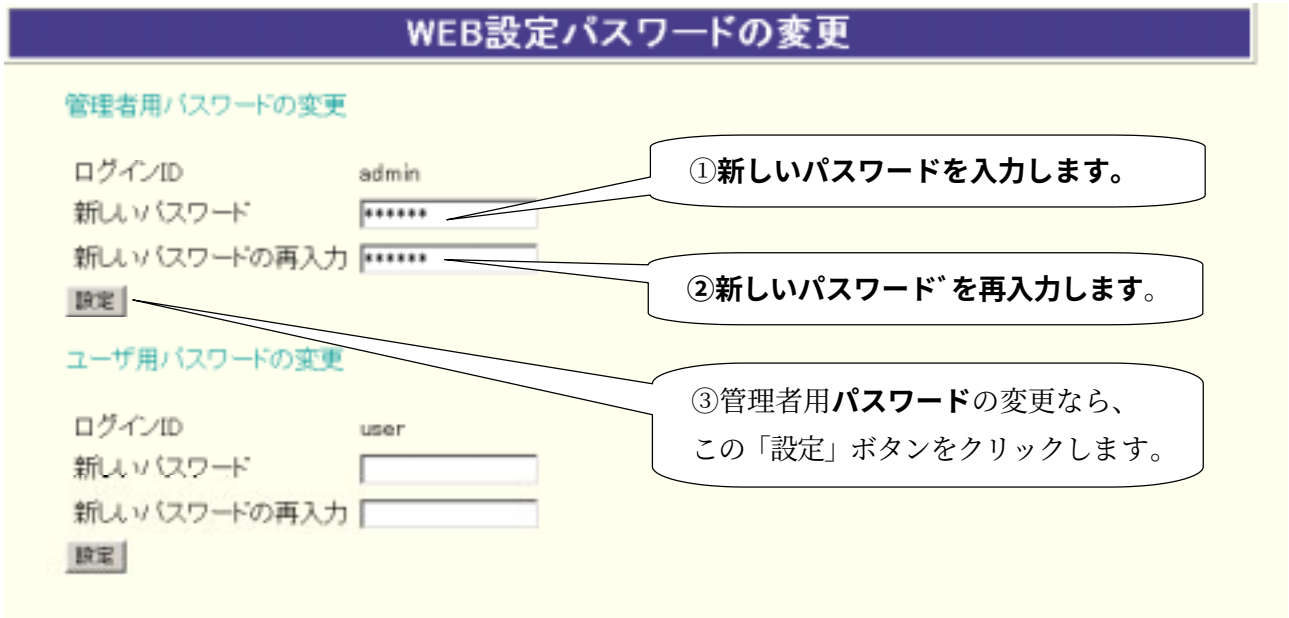
2-3-2 ＷＥＢ設定パスワードの変更

パスワードには「管理者用パスワード」と「ユーザ用パスワード」があります。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「ＷＥＢ設定パスワードの変更」をクリックします。
2. 「ＷＥＢ設定パスワードの変更」画面が表示されます。



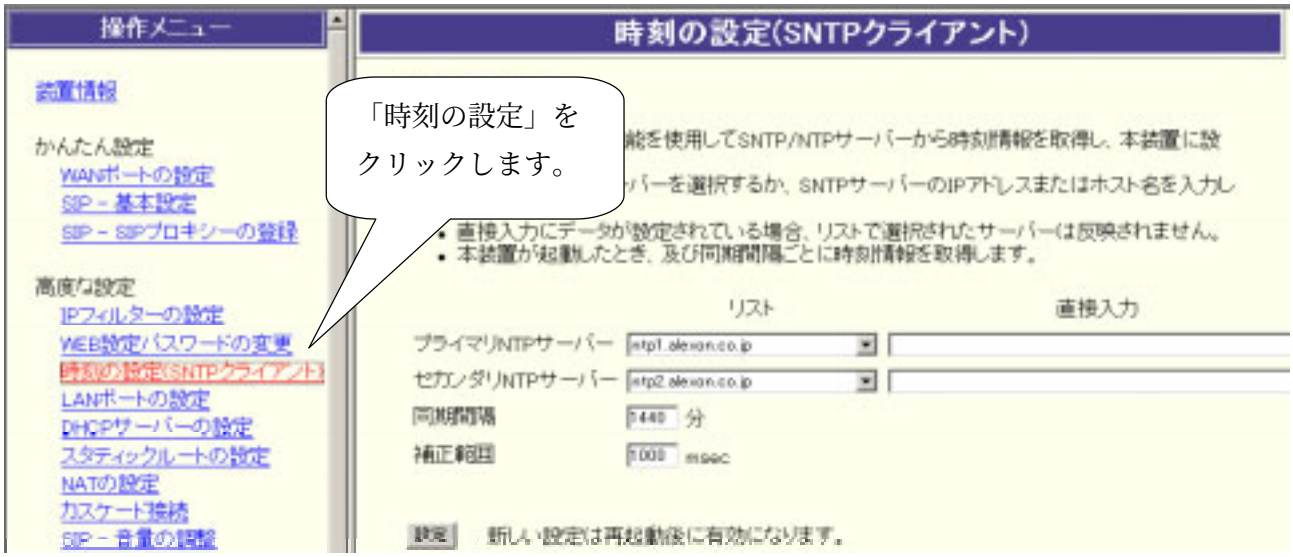
3. 例えば、「管理者用パスワードの変更」の場合、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの再入力」に同じパスワードを入力します。入力が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。（パスワードは最小１文字、最大 15 文字半角英数字です。大文字小文字の区別をします。）



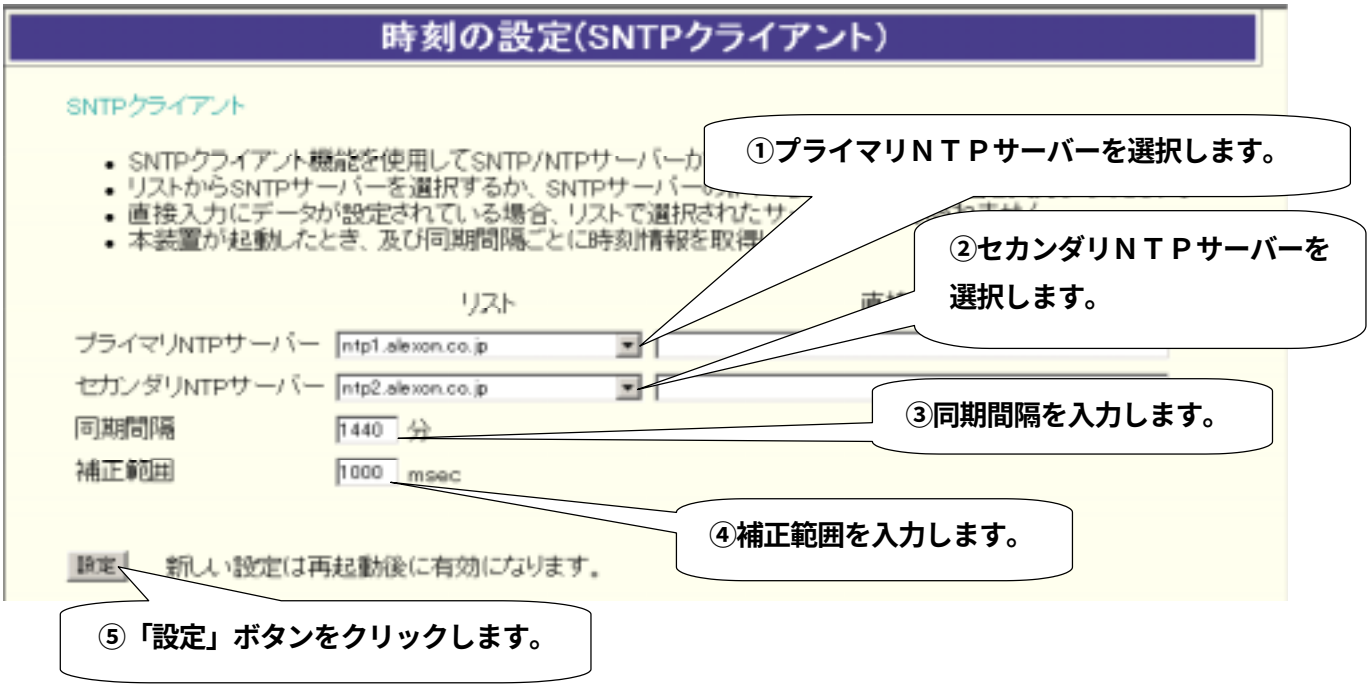
2-3-3 時刻の設定（ＳＮＴＰクライアント）

指定したＳＮＴＰ／ＮＴＰサーバーから定期的　時刻情報を取得します。（工場出荷値で問題なく機能致します。）本機が起動したとき、及び同期間隔ごとに時刻情報を取得します。

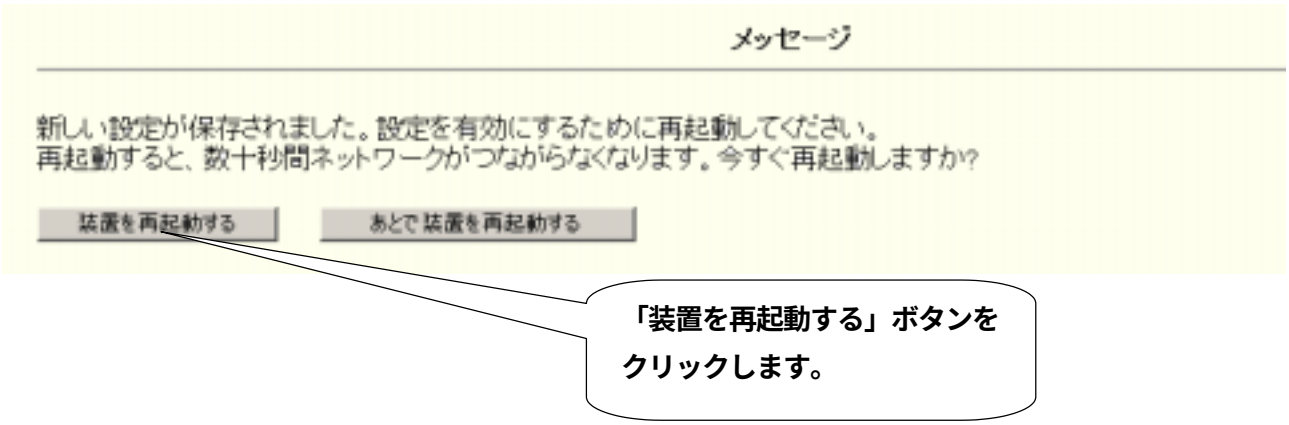
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「時刻の設定（ＳＮＴＰクライアント）」をクリックします。
2. 「時刻の設定（ＳＮＴＰクライアント）」画面が表示されます。



3. 時刻情報を取得するためにＳＮＴＰ／ＮＴＰサーバーを指定します。リストからＳＮＴＰサーバーを選択するか、ＳＮＴＰサーバーのＩＰアドレスまたはホスト名を入力してください。 直接入力にデータが設定されている場合、リストで選択されたサーバーは反映されません。
4. 設定した同期間隔に時刻情報を取得します。同期間隔を短くするとＮＴＰサーバーとのトラフィックを増やす事になり、負荷が増えて時刻補正が困難になります。適切な時間を設定してください。
5. 設定した補正範囲で時刻を補正します。



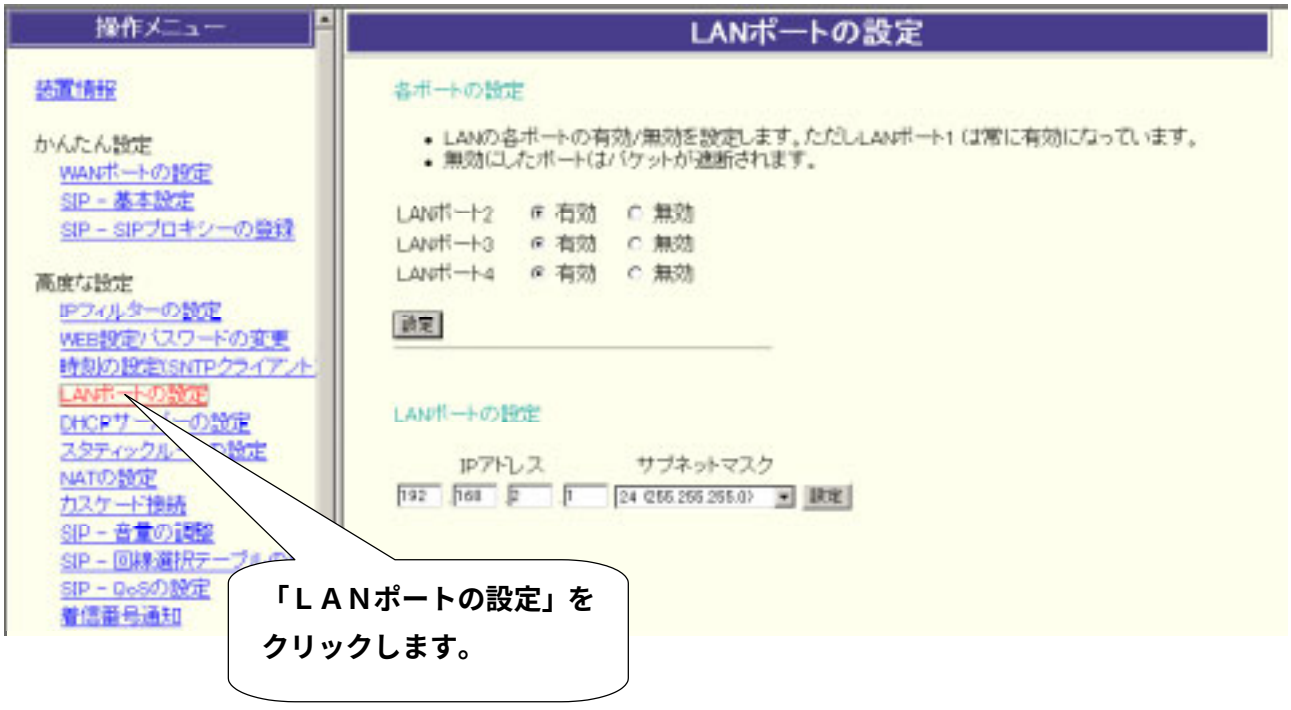
6. 設定が完了し、「設定」ボタンをクリックしますと下記メッセージを表示します。
7. 「装置を再起動する」ボタンをクリックしますと設定を有効にします。再起動すると、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
8. 「あとで装置を再起動する」ボタンをクリックしますと設定は有効にはなりませんが、次の項目の設定が可能です。



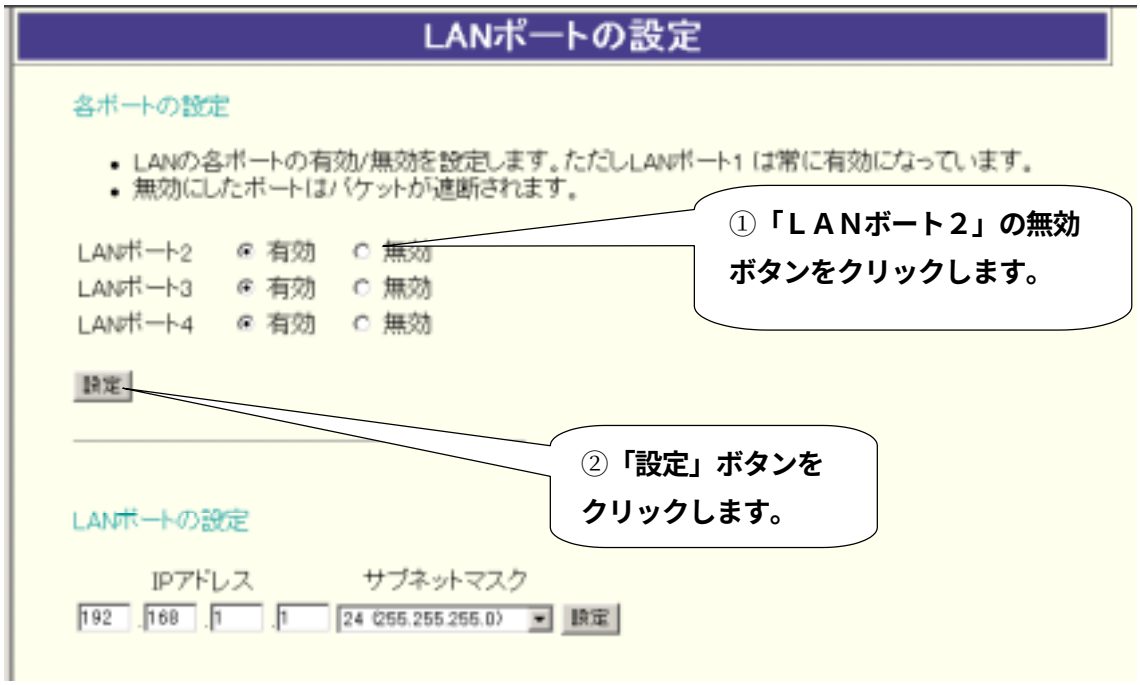
2-3-4 ＬＡＮポートの設定

ＬＡＮポート２～４まで有効／無効の設定をします。

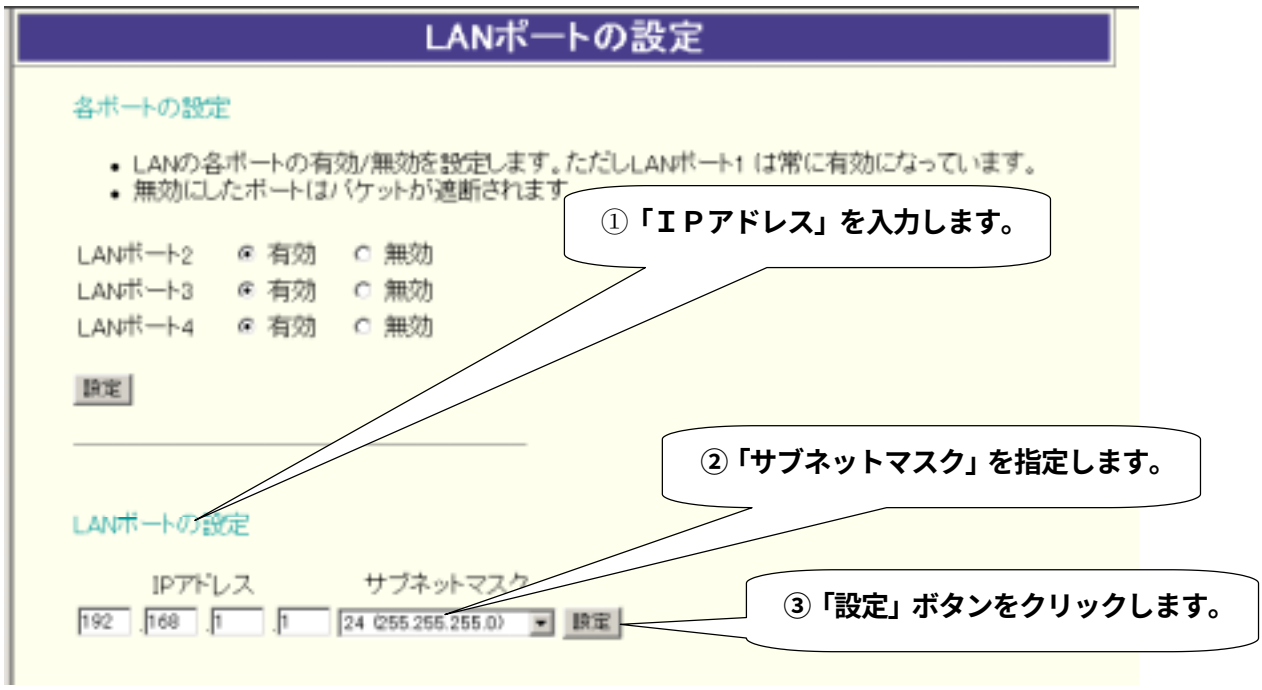
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「ＬＡＮポートの設定」をクリックします。
2. 「ＬＡＮポートの設定」画面が表示されます。



3. ＬＡＮポートを「無効」に設定するには、「各ポートの設定」でＬＡＮポート２～４を指定します。設定例として、「ＬＡＮポート２」を無効にして「設定」ボタンをクリックします。



4. ＬＡＮポート側のＩＰアドレスを設定するには、「ＬＡＮポートの設定」でＩＰアドレスを入力しサブネットマスクを指定します。



5. 設定を有効にするために再起動してください。

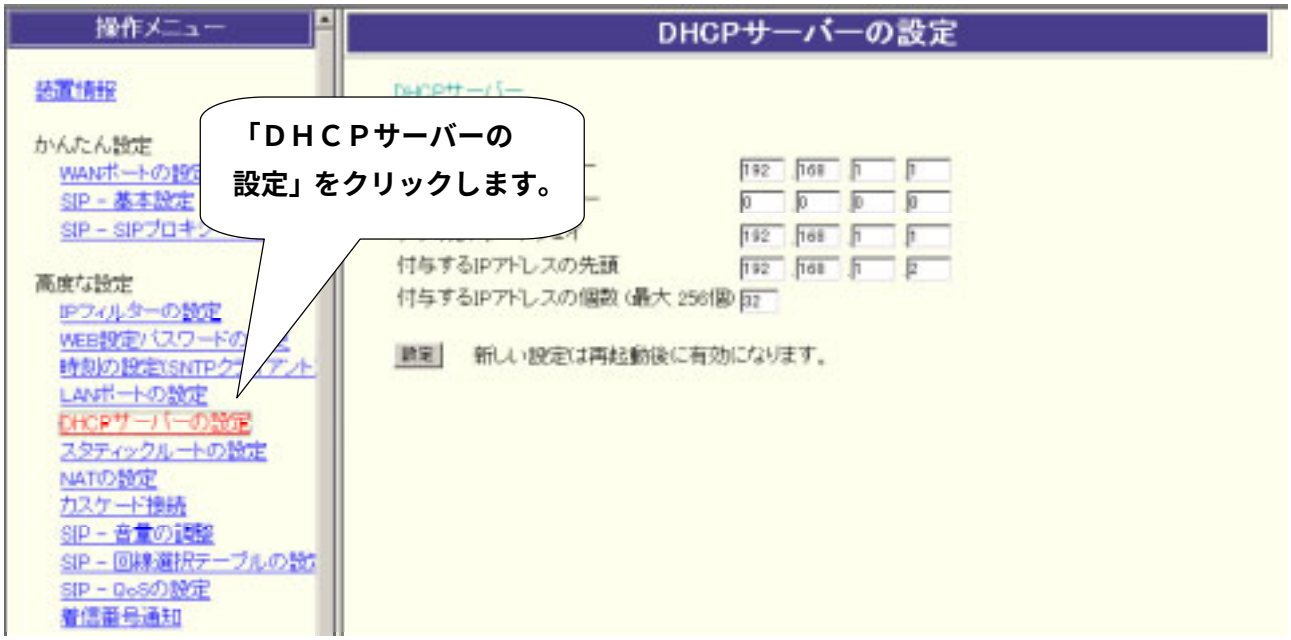
ご注意

- ＬＡＮポート１は常に有効になっています。無効にはできません。
- 無効にしたポートはパケットが遮断されます。

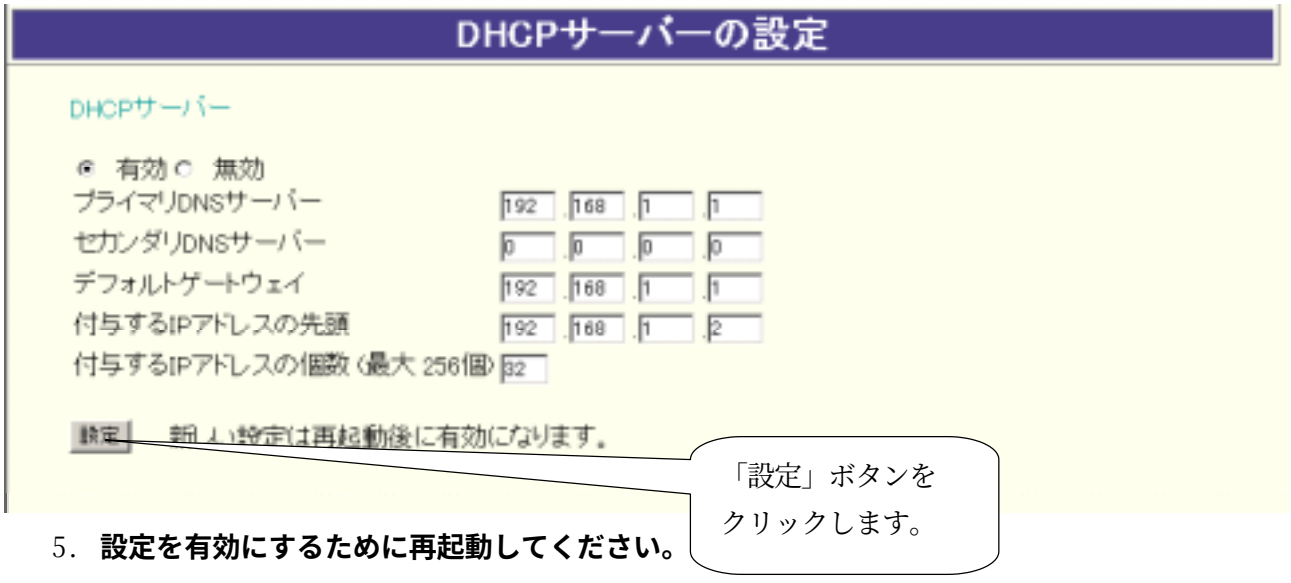
2-3-5 ＤＨＣＰサーバーの設定

本機をＤＨＣＰサーバーとＤＮＳサーバーとして機能させるかを設定します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「ＤＨＣＰサーバーの設定」をクリックします。
2. 「ＤＨＣＰサーバーの設定」画面が表示されます。



3. 「ＤＨＣＰサーバーの設定」画面で、以下の設定を行います。
4. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。

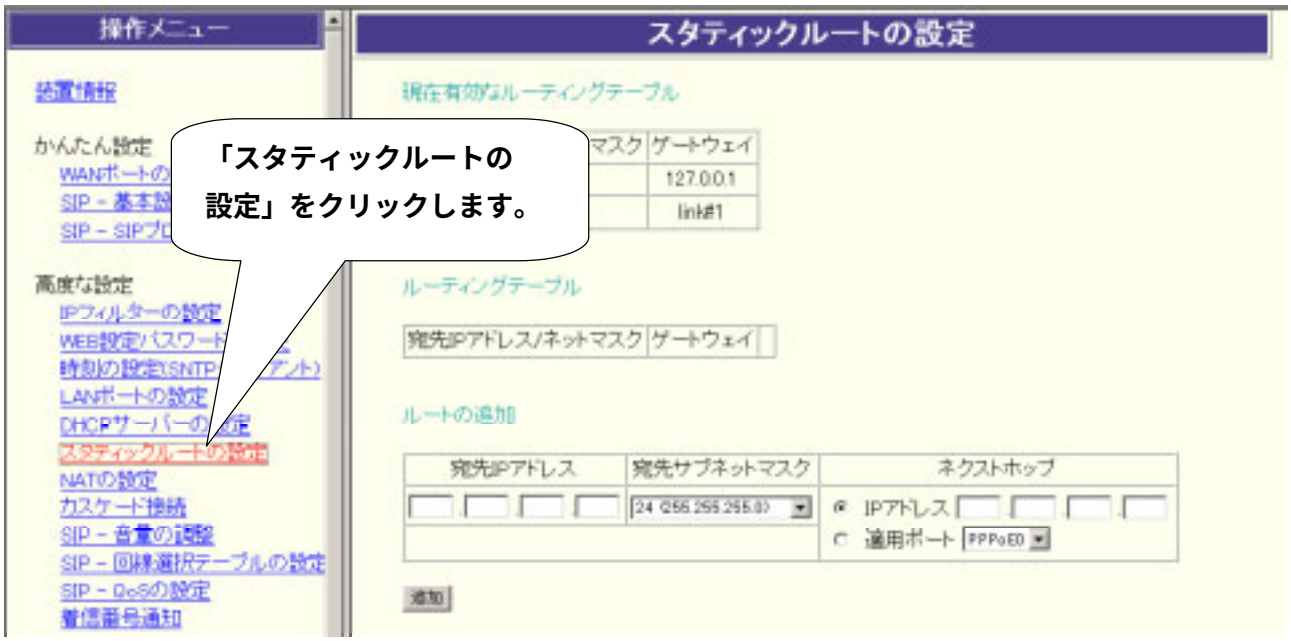


5. 設定を有効にするために再起動してください。

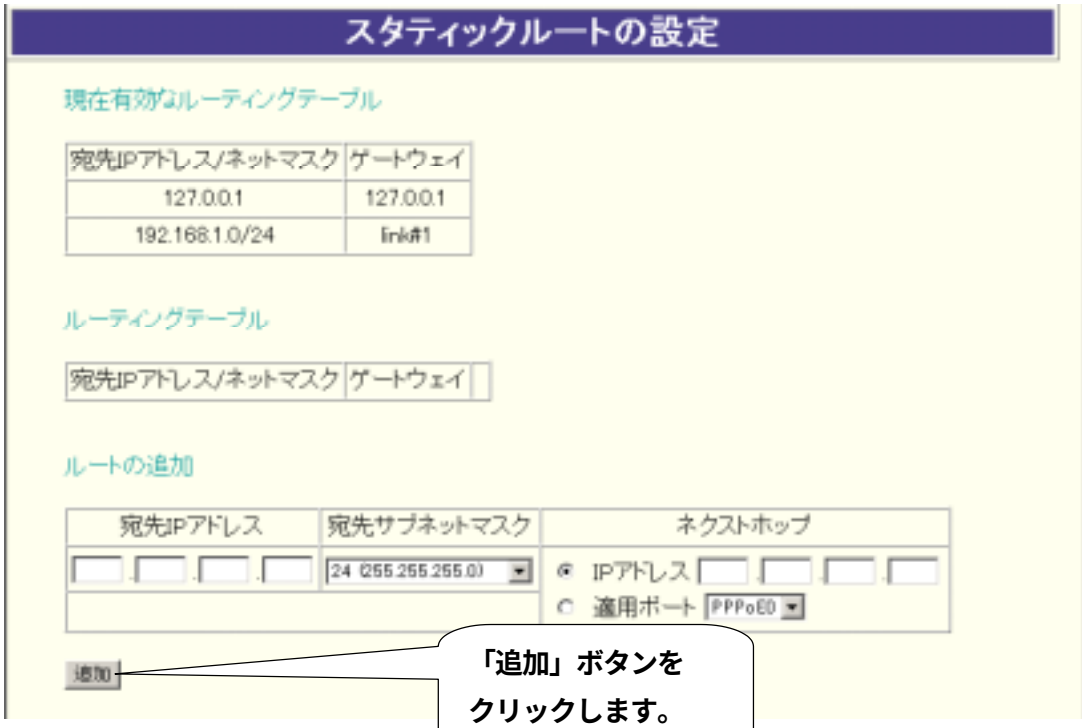
2-3-6 スタティックルートの設定

上位接続先ルータへ固定経路を設定します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「スタティックルートの設定」をクリックします。
2. 「スタティックルートの設定」画面が表示されます。



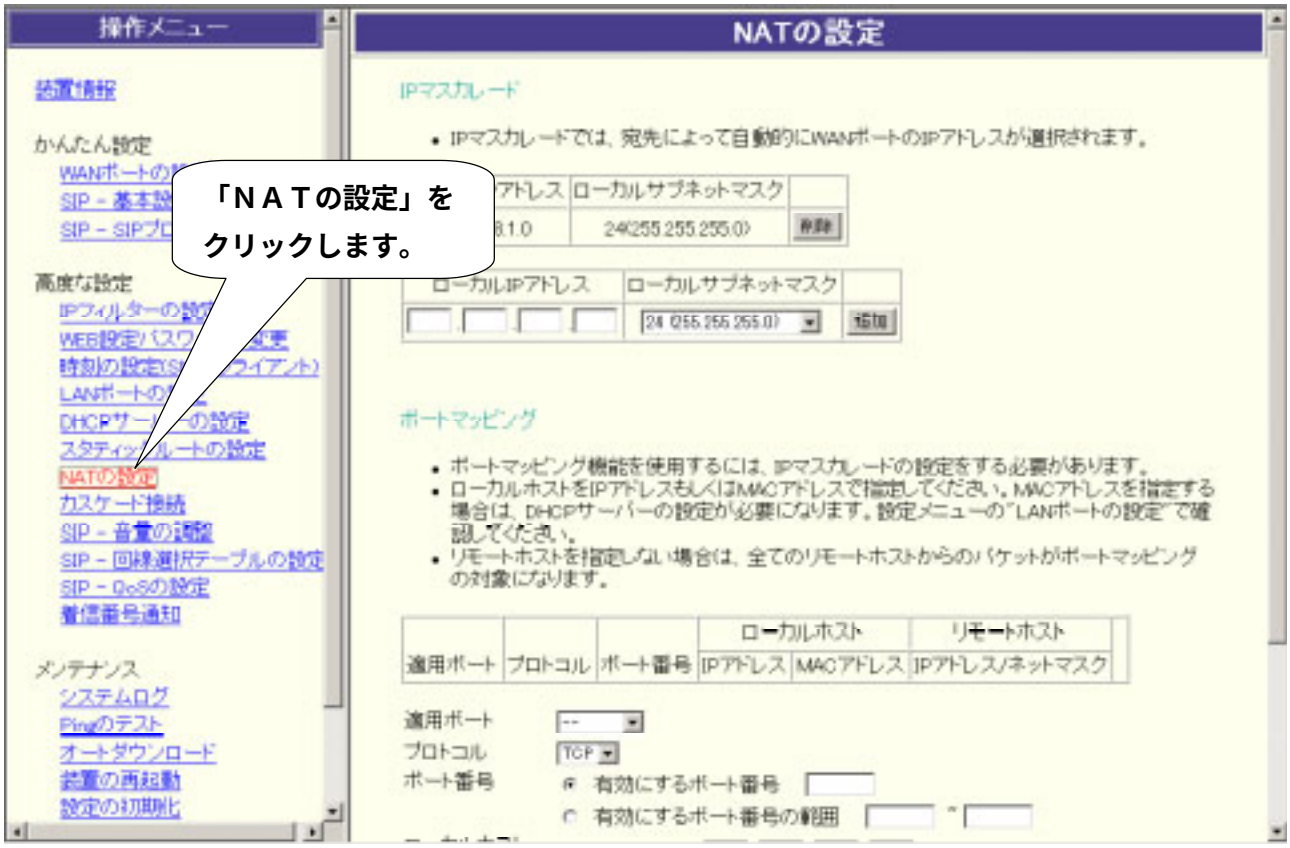
3. 「スタティックルートの設定」画面で、以下の設定を行います。
4. 「ルートの追加」設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。



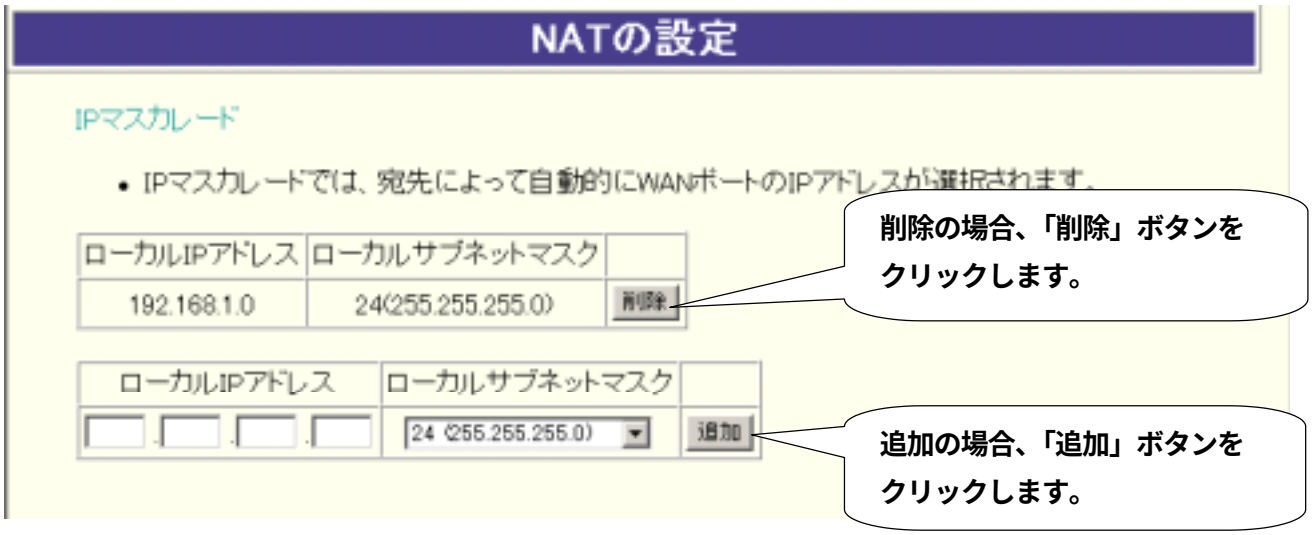
2-3-7 ＮＡＴの設定（IP マスカレード・ポートマッピング）

ＮＡＴの設定します。

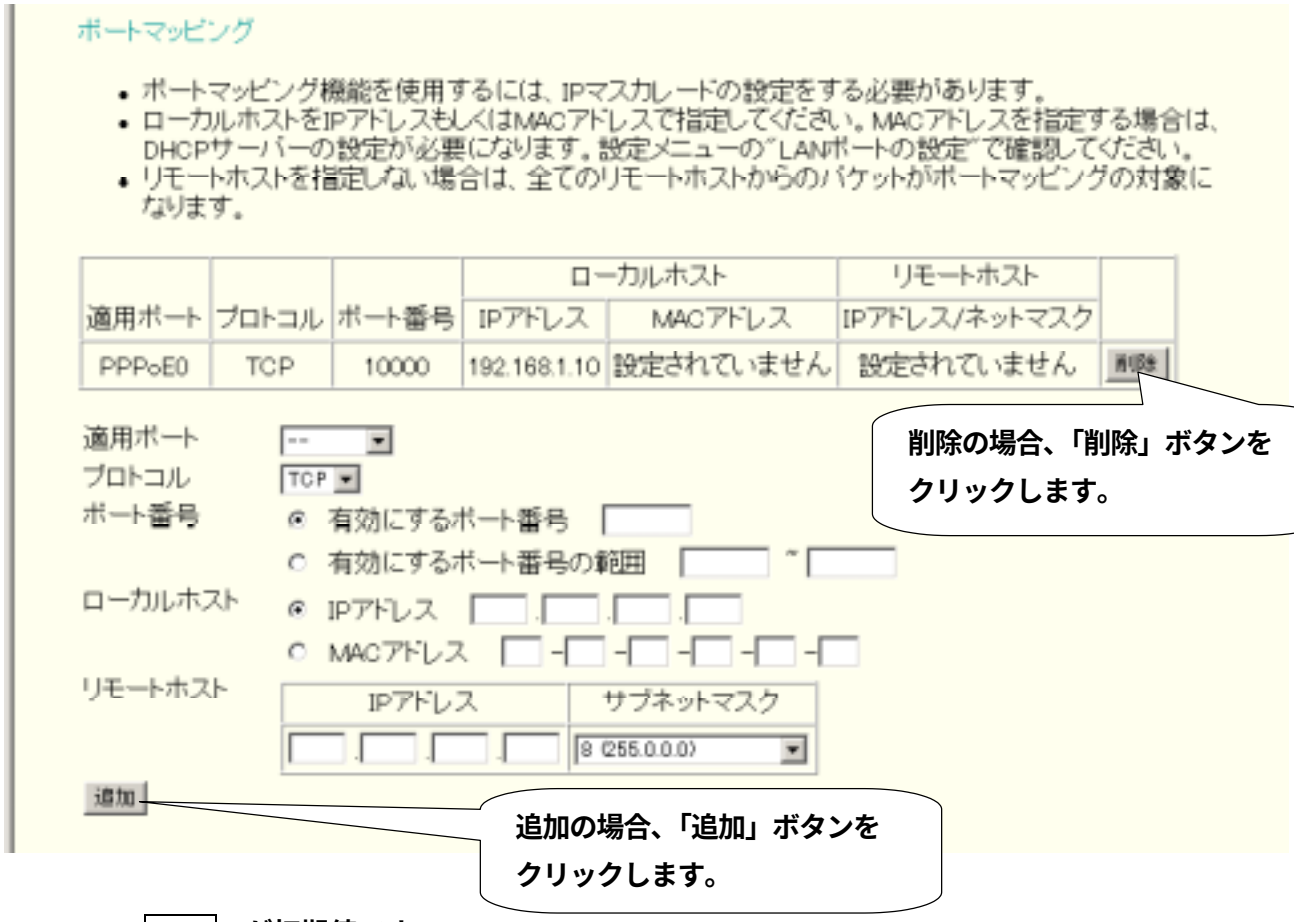
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「ＮＡＴの設定」をクリックします。
2. 「ＮＡＴの設定」画面が表示されます。



5. 「ＩＰマスカレード」画面で、以下の設定を行います。
6. 「ＩＰマスカレード」設定が完了したら、「削除」又は「追加」ボタンをクリックします。



7. ポートマッピングを設定するには、「NAT の設定」の「ポートマッピング」画面で設定を行います。
8. 新たに、特定のポートマッピングを追加するには以下の設定を行います。設定が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。
9. 登録済みのポートマッピングを削除するには、削除するポートマッピングの設定の行にある「削除」ボタンをクリックします。



適用ポート	プロトコル	ポート番号	ローカルホスト		リモートホスト	
			IPアドレス	MACアドレス	IPアドレス/ネットマスク	
PPPoE0	TCP	10000	192.168.1.10	設定されていません	設定されていません	削除

□ が初期値です。

項　目	設　定	内　容
適応ポート	□-- WAN PPPoE0-7	--／WAN／PPPoE0～PPPoE7 適応するポートを選択します。
プロトコル	□TCP UDP	TCP／UDP 指定プロトコルを選択します。
ポート番号（ポート番号かポート番号の範囲を指定が可能です。）		
□ポート番号	－	ポート番号を入力します。(0-65535)
ポート番号の範囲	－	ポート番号の範囲を入力します。(0～65535)
ローカルホスト（IP アドレスか MAC アドレスを指定が可能です。）		
□IP アドレス	－	IP アドレスを入力します。設定例　xxx.xxx.xxx.xxx
MAC アドレス	－	MAC アドレスを入力します。設定例　xx-xx-xx-xx-xx-xx
リモートホスト		
IP アドレス	－	IP アドレスを入力します。設定例　xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク	□8-32	8(255.0.0.0)～32(255.255.255.255) サブネットマスクを選択します。

2-3-8 カスケード接続（ＩＰ電話を複数番号使用するには）

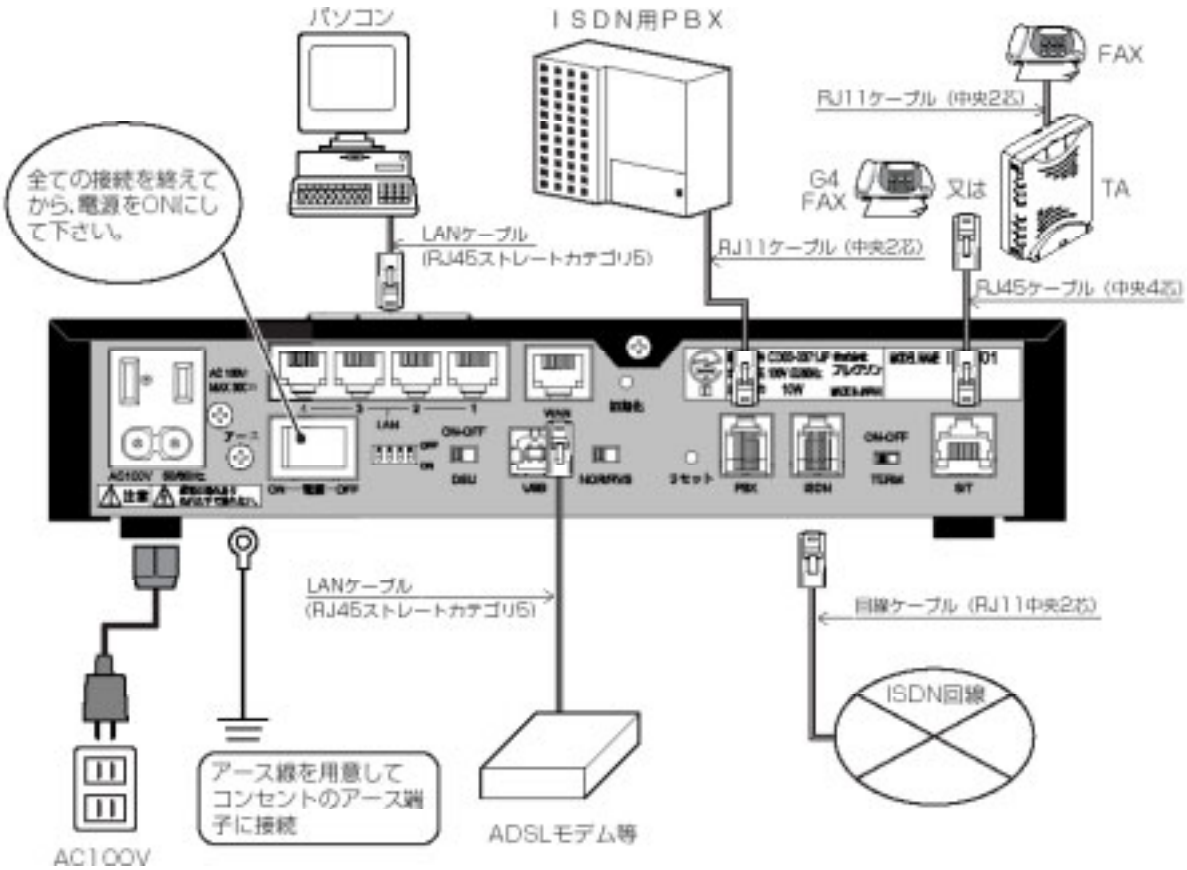
IP 電話を複数番号使用するには、本機を複数台ご用意ください。最大 4 台で 4 契約同時 8 通話が可能となります。

ご注意

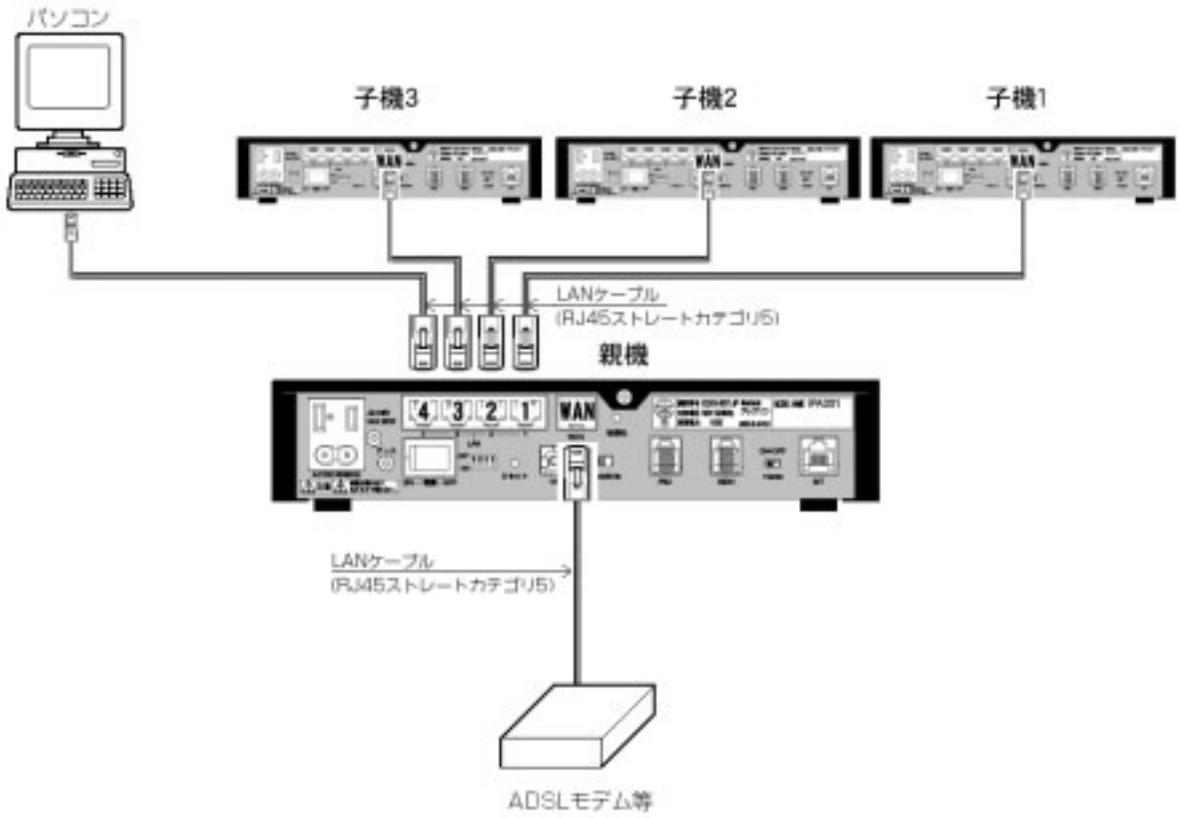
- ご準備として、契約書（IP-Phone サービス開始のご案内）をご用意の上、親機・子機等の割り当てを決めてください。SIP 設定を誤りますと正常に動作しません。
- 初期化（工場出荷）状態でのみカスケード接続設定が可能です。他に設定されている場合は、まず初期化を行ってください。
- 各設定後は自動的に再起動します。再起動後、WAN ポート（親機のみ）と SIP 設定（親機・子機とも）の設定を行ってください。
- 子機に設定しますと、子機の LAN ポートではデータ通信はできません。但し、Web 設定のみ可能です。
- IP 網が少なくとも**上り下り共** 1 **通話あたり安定して約** 150kbps **以上**の回線速度が必要です。回線速度が遅いと通話品質が落ちたり通話できないことがあります。
- 子機の電源再投入後（停電後も含む）、AD ランプが点滅する事があります。その場合は、親機の PPP ランプ点灯を確認後、子機の AD スイッチを押下してください。

2-3-8-1 接続方法

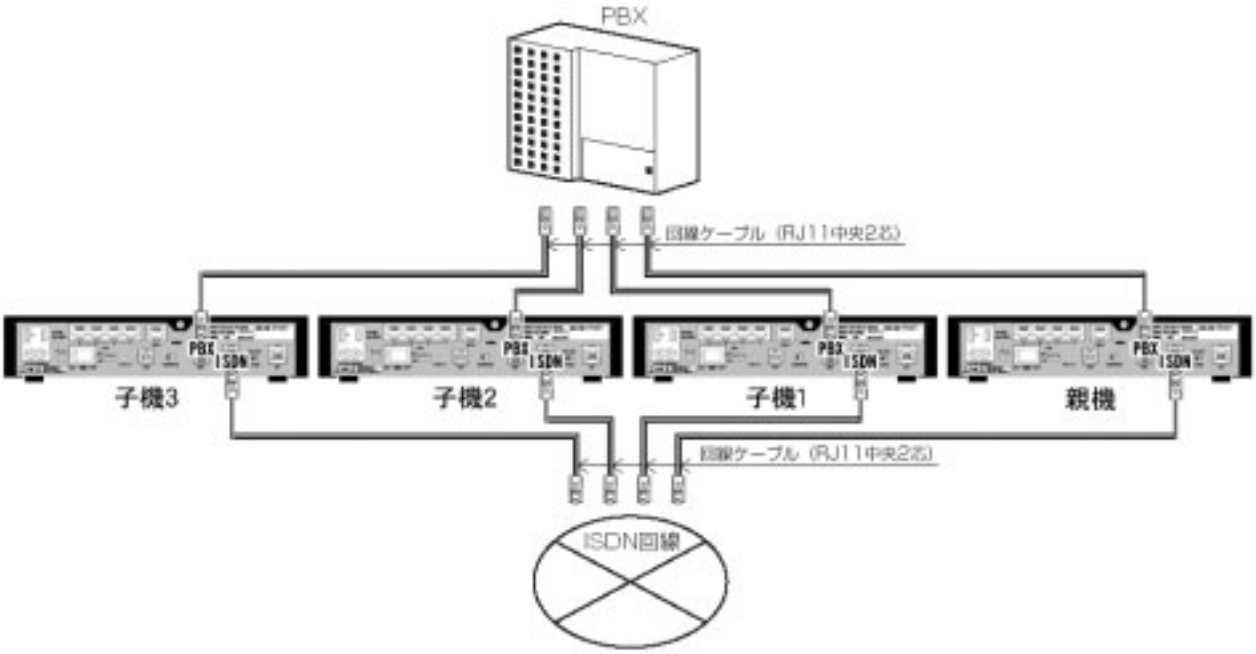
1．親機の基本接続方法。（全 LAN・ISDN・PBX の接続は次項記載）



2. **全 LAN ポートの接続方法。下記図に準じて接続してください。（子機 2、子機 3 が存在しない場合も有ります）**



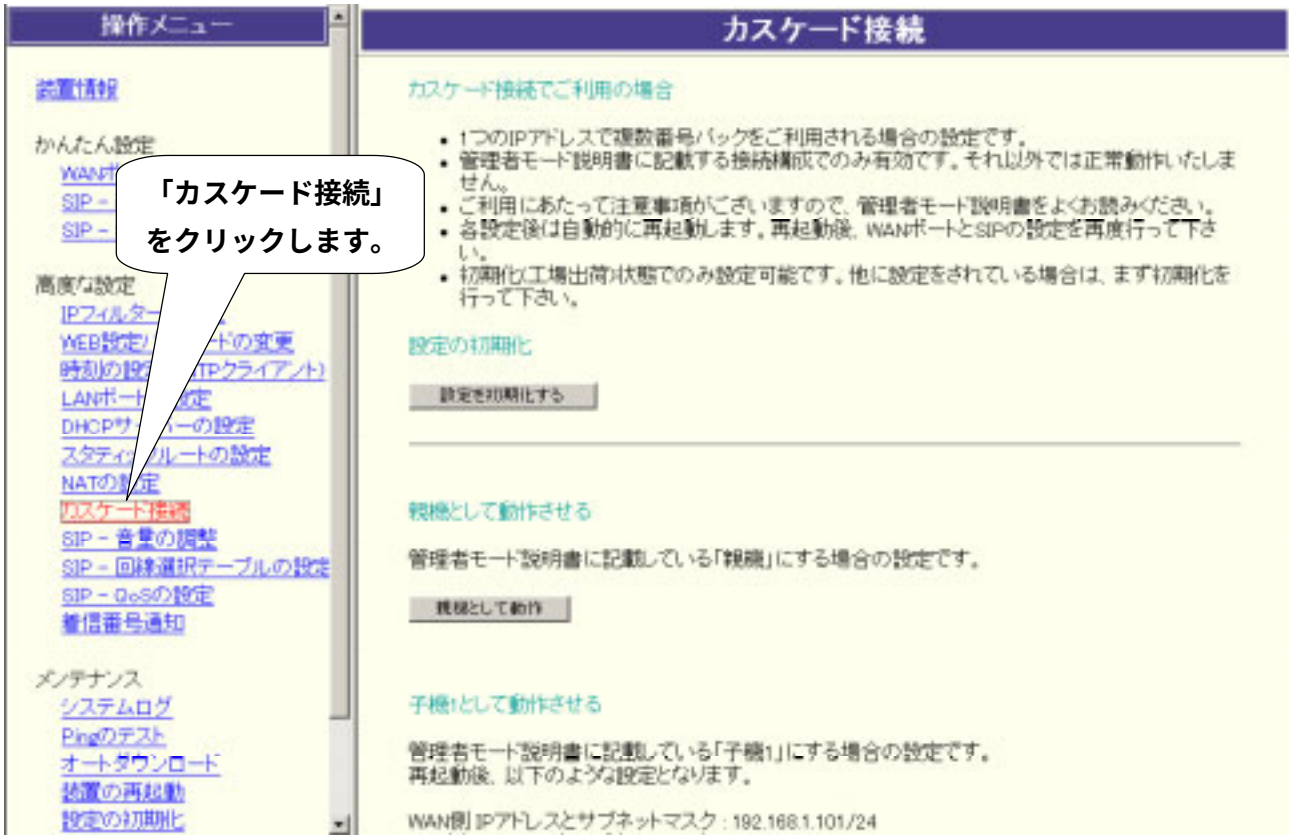
3. **全 ISDN と PBX の接続方法。（子機 2、子機 3 が存在しない場合も有ります）**



2-3-8-2 親機の設定方法

まず親機の設定を行ってから、子機の設定を行ってください。

1. 親機と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続して、Web 設定を起動します。
2. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「カスケード接続」をクリックします。
3. 「カスケード接続」画面が表示されます。



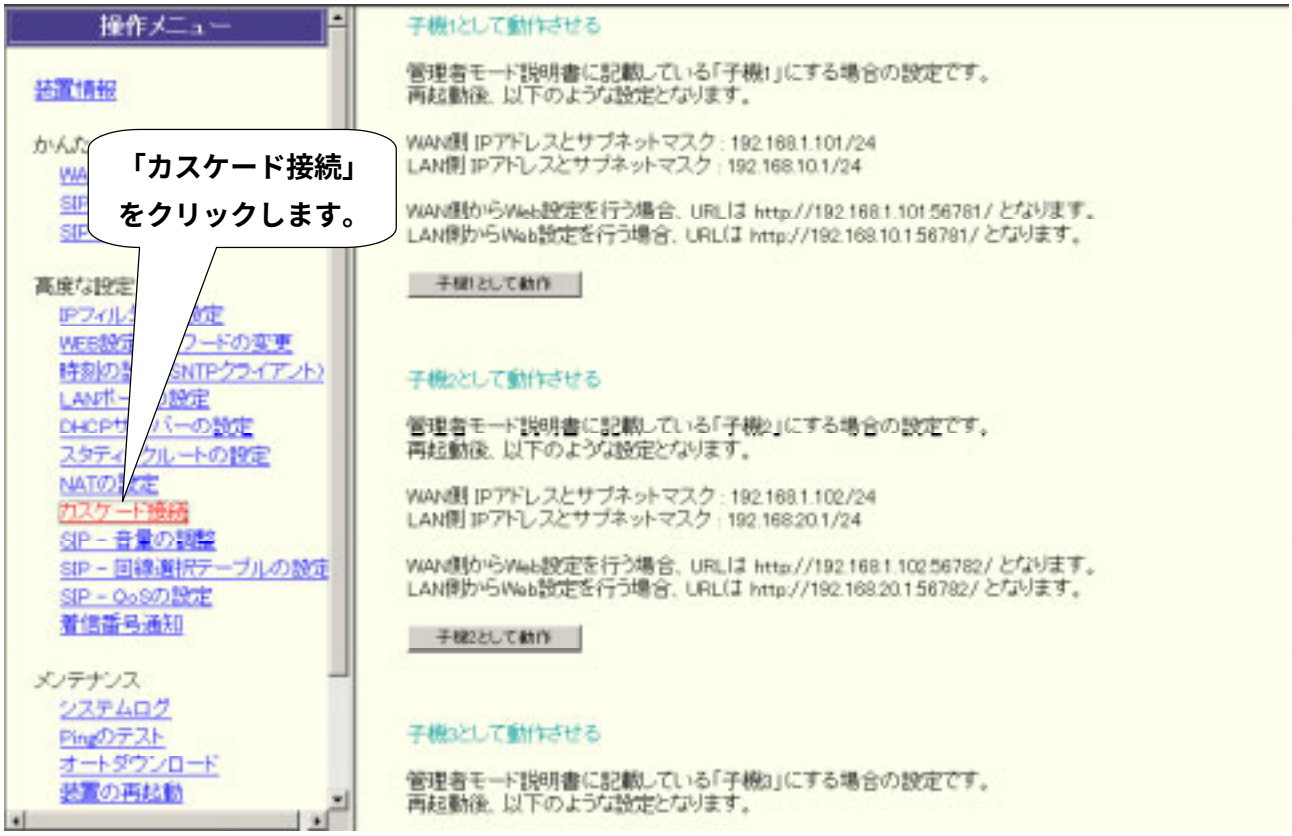
4. 既に何か設定されている場合は、「設定を初期化する」ボタンをクリックします。
5. 「親機として動作」ボタンをクリックします。
6. 再起動してから、URL フィールドに本機の IP アドレス「http://192.168.1.1/Exp」を入力して再ログインします。
7. WAN ポートの設定をします。（詳しくは、取扱説明書「8 本機を設定するには」をご参照ください）
8. 親機専用の SIP 設定をします。（同様に、取扱説明書「8 本機を設定するには」をご参照ください）
9. 「メンテナンス」の「装置の再起動」をクリックして、「装置を再起動する」ボタンをクリックします。
10. 本機の PPP と CA ランプが点灯することを確認します。これで親機の設定は完了します。

2-3-8-2 子機 1～3 の設定方法

親機の設定が終わりましたら、子機の設定を行ってください。（子機 2、子機 3 が存在しない場合があります）

子機 1 の設定方法

1. 子機 1 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続して、Web 設定を起動します。
2. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「カスケード接続」をクリックします。
3. 「カスケード接続」画面が表示されます。



4. 既に何か設定されている場合は、「設定を初期化する」ボタンをクリックします。
5. 「子機１として動作」ボタンをクリックします。
6. 接続パソコンを再起動します。
7. 再起動してから、URL フィールドに本機の IP アドレス「http://192.168.10.1:56781/Exp」を入力して再ログインします。
8. 子機１専用の SIP 設定をします。（詳しくは、取扱説明書「8 本機を設定するには」をご参照ください）
9. これで子機 1 の設定は完了します。4 通話契約でしたら、これで設定は完了です。

子機 2 の設定方法

10. パソコンを再起動後、子機 2 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続して、Web 設定を起動します。
11. 子機 1 の手順と同じ操作をしてから、「子機 2 として動作」ボタンをクリックします。
12. 接続パソコンを再起動します。
13. 再起動してから、URL フィールドに本機の IP アドレス「http://192.168.20.1:56782/Exp」を入力して再ログインします。

14. **子機 2 専用の SIP 設定をします。**
15. **これで子機 2 の設定は完了します。6 通話契約でしたら、これで設定は完了です。**

子機 3 の設定方法

16. **パソコンを再起動後、子機 3 と決めた本機とパソコンを LAN ケーブル（RJ45 ストレート）で接続して、Web 設定を起動します。**
17. **子機 1 の手順と同じ操作をしてから、「子機 3 として動作」ボタンをクリックします。**
18. **接続パソコンを再起動します。**
19. **再起動してから、URL フィールドに本機の IP アドレス「http://192.168.30.1:56783/Exp」を入力して再ログインします。**
20. **子機 3 専用の SIP 設定をします。**
21. **これで子機 3 の設定は完了します。最大 8 通話契約の設定は完了です。**

ご注意

- 子機に設定しますと、子機の LAN ポートではデータ通信はできません。但し、Web 設定のみ可能です。

2-3-8-3 ご利用にあたって

1. **子機等で ISDN 回線を接続していない場合、迂回が発生すると ISDN 回線に接続できなくビジー音となります。**
2. **親機・子機等の設定が完了している場合、親機の LAN ポートよりカスケード接続した子機の設定が可能です。**

   親機の Web 設定を行う場合、URL は http://192.168.1.1/Exp となります。
   子機 1 の Web 設定を行う場合、URL は http://192.168.1.101:56781/Exp となります。
   子機 2 の Web 設定を行う場合、URL は http://192.168.1.102:56782/Exp となります。
   子機 3 の Web 設定を行う場合、URL は http://192.168.1.103:56783/Exp となります。
3. **AD ランプが点滅している場合、まず親機から AD スイッチを押してファームウェアの更新をしてください。親機のファームウェアの更新後、順次子機１から AD スイッチを押してファームウェアの更新をしてください。**

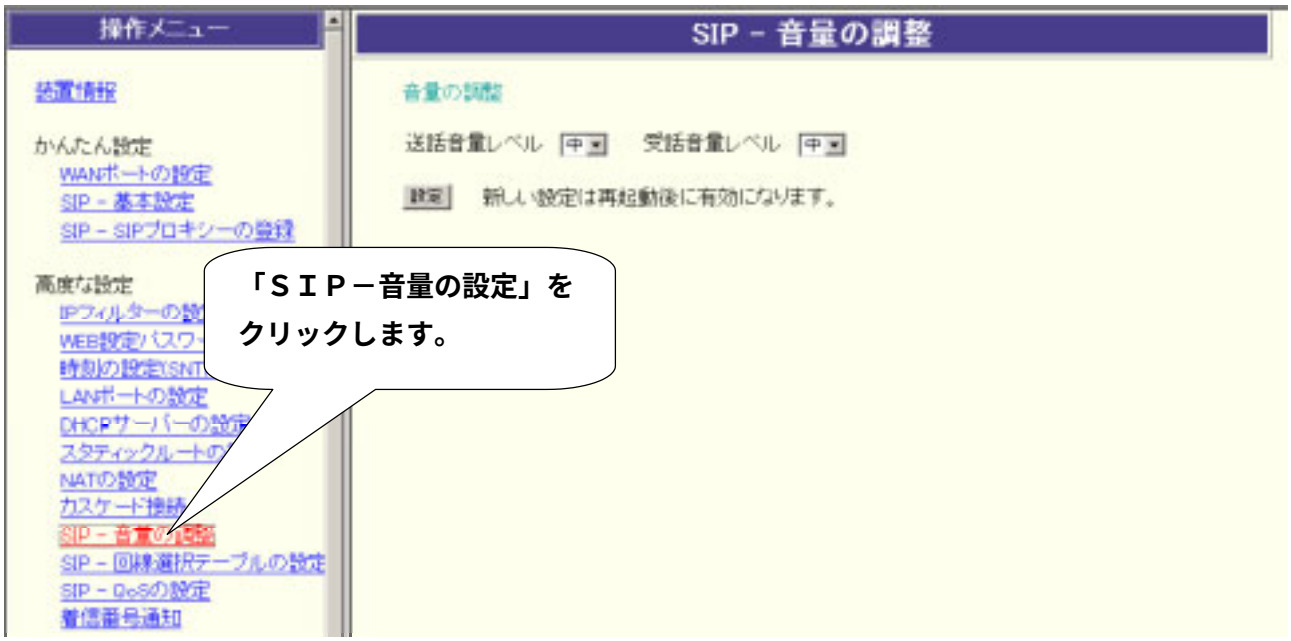
Web 設定する場合の URL 一覧

	Web 設定	URL
親機	WAN 側	ISP 提供のグローバル IP アドレス
	LAN 側	http://192.168.1.1/Exp
子機 1	WAN 側	http://192.168.1.101:56781/Exp
	LAN 側	http://192.168.10.1:56781/Exp
子機 2	WAN 側	http://192.168.1.102:56782/Exp
	LAN 側	http://192.168.20.1:56782/Exp
子機 3	WAN 側	http://192.168.1.103:56783/Exp
	LAN 側	http://192.168.30.1:56783/Exp

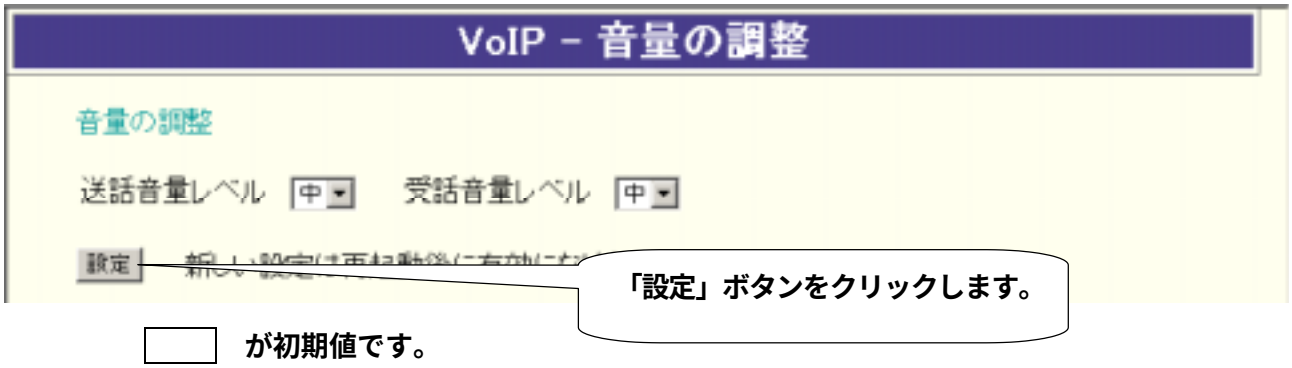
2-3-8 ＳＩＰ－音量の調整

ＳＩＰ－音量の調整します。

1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「ＳＩＰ－音量の調整」をクリックします。
2. 「ＳＩＰ－音量の調整」画面が表示されます。



3. 「ＳＩＰ－音量の調整」画面で、以下の設定を行います。
4. 「ＳＩＰ－音量の調整」設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



□ が初期値です。

	大	中	小
送話音量レベル	０ｄＢ	－２ｄＢ	－４ｄＢ
受話音量レベル	０ｄＢ	－６ｄＢ	－１２ｄＢ

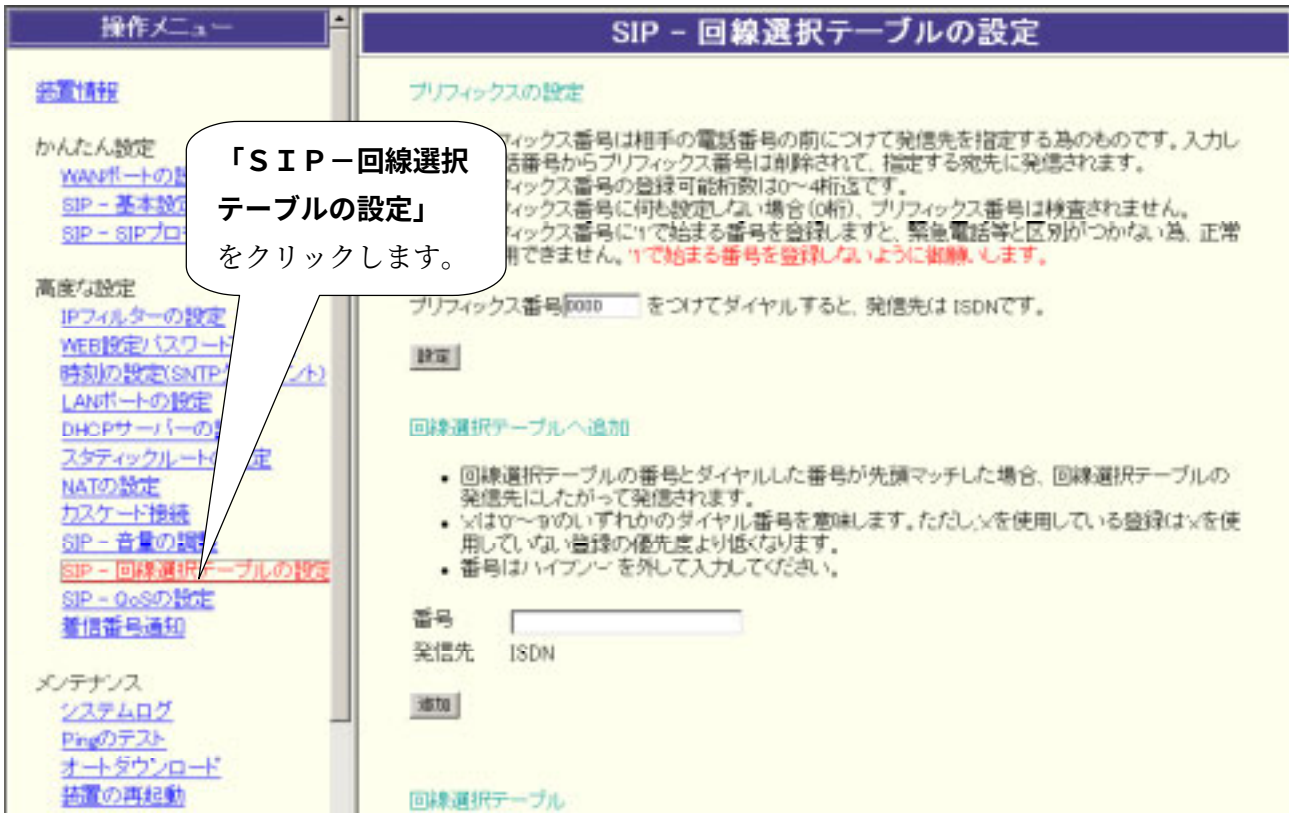
上記仕様は、予告なく変更する場合が有ります。

5. 設定を有効にするために再起動してください。

2-3-9 ＳＩＰ－回線選択テーブルの設定

「プリフックスの設定」・「回線選択テーブルへ追加」・「回線選択テーブルの削除」をします。

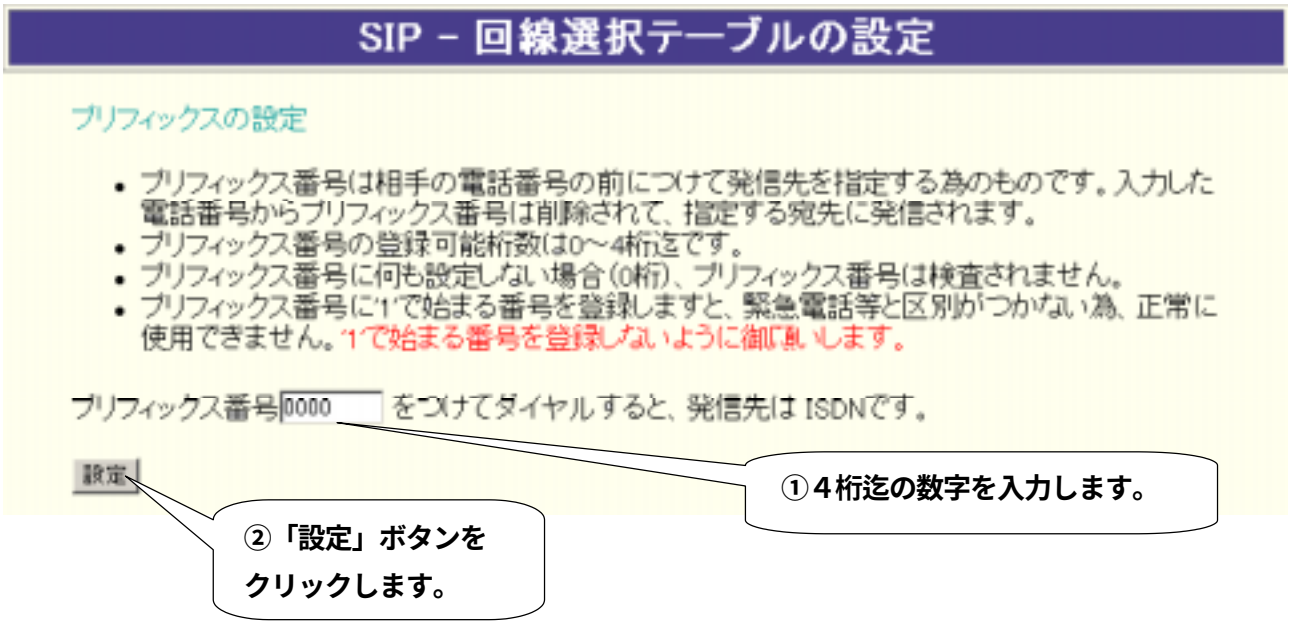
1. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「ＳＩＰ－回線選択テーブルの設定」をクリックします。
2. 「ＳＩＰ－回線選択テーブルの設定」画面が表示されます。



2-3-9-1 プリフィックスの設定

ＩＳＤＮ回線へ直接発信するには、電話番号の先頭にプリフィックス番号（初期値：００００）を付加しますが、このプリフィックス番号を設定します。

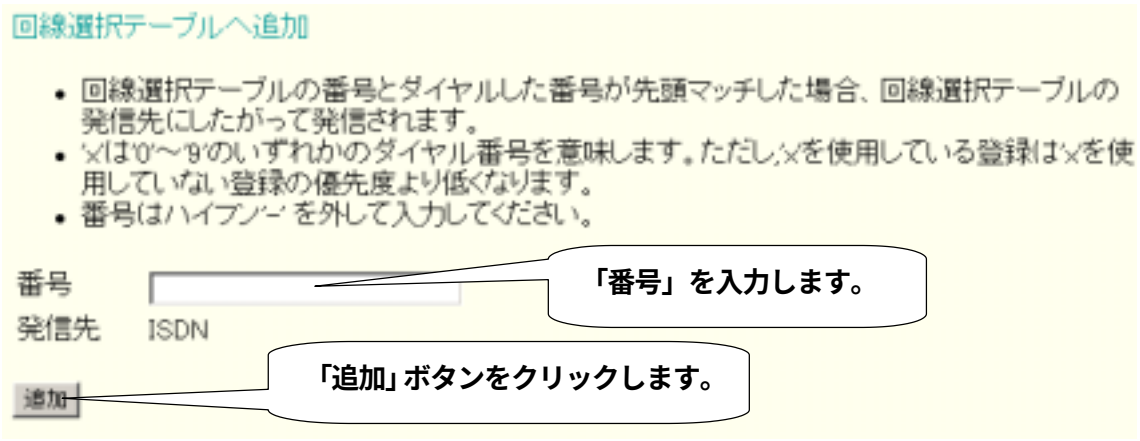
1. 「プリフィックスの設定」の「プリフィックス番号」を入力します。
2. 入力が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



2-3-9-2 回線選択テーブルへ追加

プリフィックス番号を使わずに直接ＩＳＤＮ回線へ発信するには、回線選択テーブルへ登録が必要です。（例えば、番号０３を回線選択テーブルへ追加しますと、０３で始まる電話番号は総て直接ＩＳＤＮ回線へ発信します。また、相手先電話番号を追加する場合は市外局番号から登録してください。）

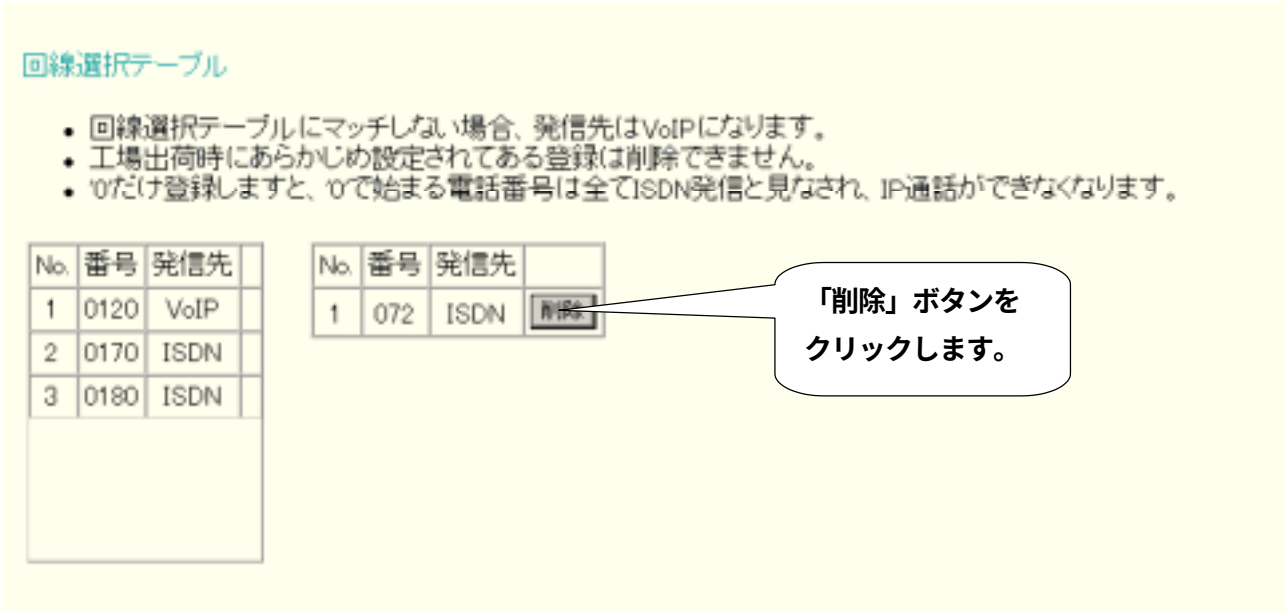
1. 「回線選択テーブルへ追加」の「番号」を入力します。
2. 入力が完了したら、「追加」ボタンをクリックします。



2-3-9-3 回線選択テーブルの削除

回線選択テーブルへ追加した電話番号を削除できます。

1. 「回線選択テーブルへ追加」した番号を選択し、「削除」ボタンをクリックします。



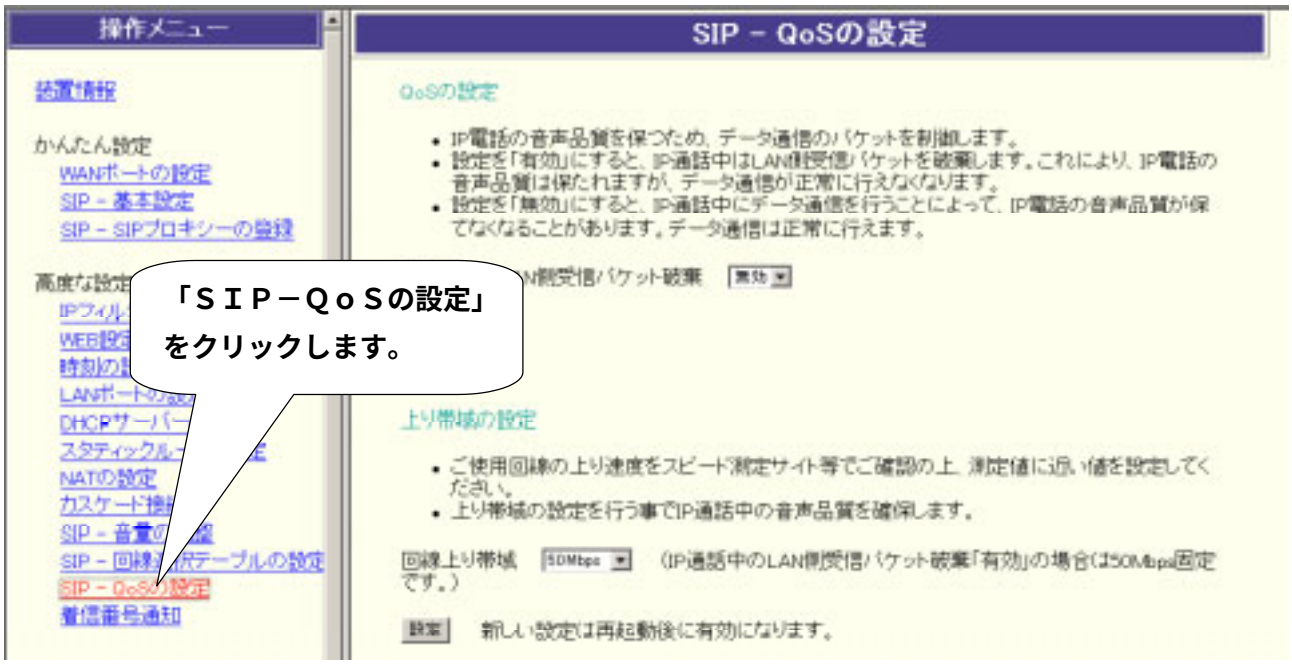
ご参考

- 回線選択テーブルにあらかじめ設定されいる登録内容は付録１に記載しています。

2-3-10 ＳＩＰ－ＱｏＳの設定

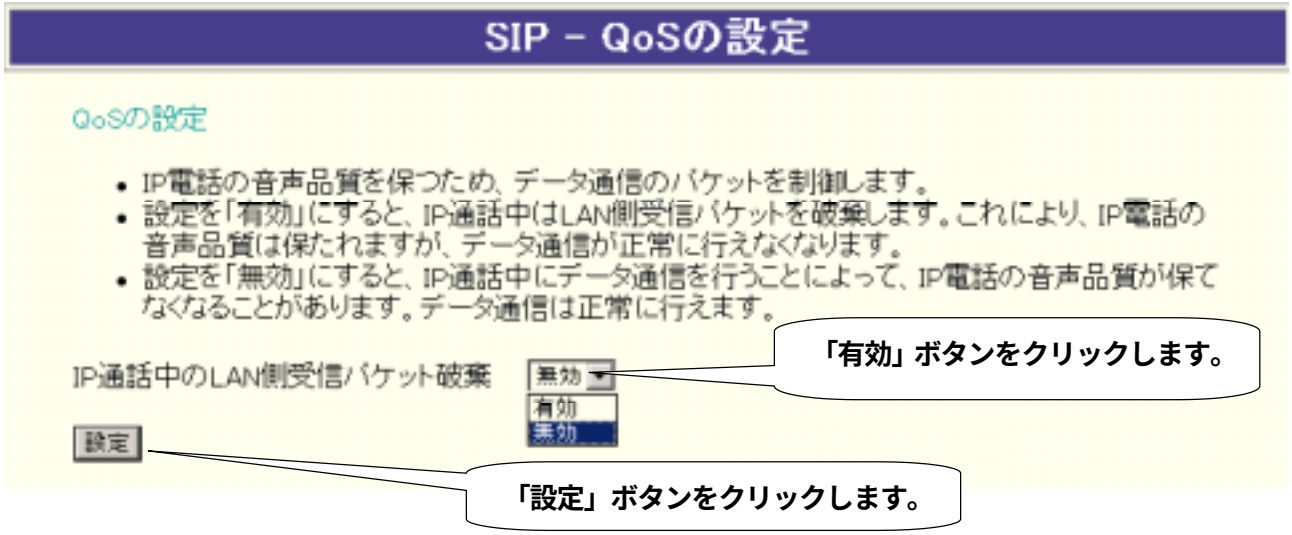
IP 電話の音声品質を保つため、データ通信のパケットを制御します。

1. 本機の PPP ランプが点灯していることをご確認ください。PPP ランプが消灯の場合は、「8.2 WAN ポートの設定をする」からご確認ください。
2. 「操作メニュー」から「高度な設定」の「ＳＩＰ－ＱｏＳの設定」をクリックします。
3. 「ＳＩＰ－ＱｏＳの設定」画面が表示されます。



2-3-10-1 ＱｏＳの設定

1. 「ＳＩＰ－ＱｏＳの設定」画面で、IP 電話の音声品質を保つ為に「有効」の設定を行います。
2. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



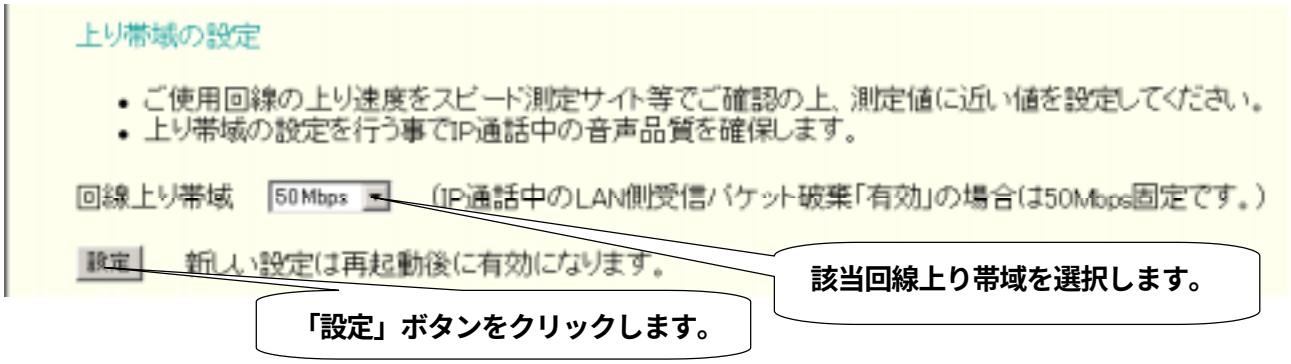
[ ] が初期値です。

設　定	内　容
有効	IP 通話中は LAN 側受信パケットを破棄します。この設定を行う事により、IP 電話の音声品質は保たれますが、通話中はデータ通信が正常に行えなくなります。 2-3-10-2 項の上り帯域の設定は、50Mbps 固定となります。 設定後に「装置の再起動」をしてください。
無効	IP 通話中にデータ通信を行うことによって、IP 電話の音声品質が保てなくなることがあります。この設定を行う事により、データ通信は正常に行えます。 2-3-10-2 項の上り帯域の設定が 250kbps～50Mbps（初期値）迄設定が可能です。 設定後に「装置の再起動」をしてください。

2-3-10-2 上り帯域の設定

ご使用回線の上り速度をスピード測定サイト等でご確認の上、測定値に近い値を設定してください。上り帯域を適切な設定を行うことにより IP 電話の音質を確保します。

1. 「ＳＩＰ－ＱｏＳの設定」画面で、IP 電話の音声品質を保つ為に「上り帯域の設定」の設定を行います。但し、この設定前に「ＳＩＰ－ＱｏＳの設定」の「無効」を設定する必要が有ります。
2. 設定が完了したら、「設定」ボタンをクリックします。



3. 「装置の再起動」画面が表示されます。
4. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。

ご参考

回線上り帯域は、250kbps、400kbps、600kbps、800kbps、1Mbps、3Mbps、5Mbps、10Mbps、30Mbps、50Mbps（初期値）の内で最適値に近い値を設定してください。

2-4 メンテナンス

設定項目には、下記項目があります。

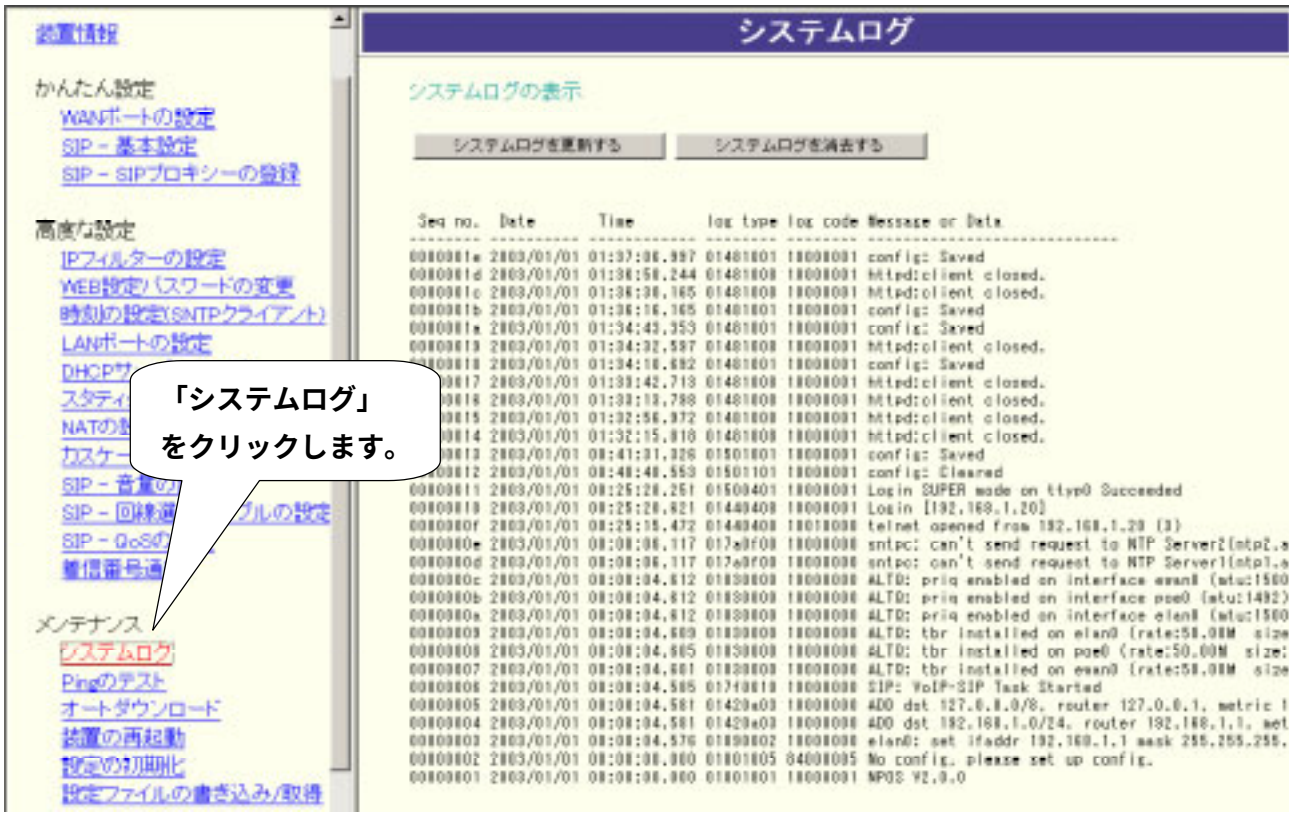
- システムログ
- Ping のテスト
- オートダウンロード
- 装置の再起動
- 設定の初期化
- 設定ファイルの書き込み／取得

各設定項目の詳細は次項をご参照ください。

2-4-1 システムログ

システムログを表示します。ログ表示は新しいものから順に表示します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「システムログ」をクリックします。
2. 「システムログ」画面が表示されます。
3. 最新のシステムログを参照するには、「システムログを更新する」をクリックします。
4. システムログを消去するには、「システムログを消去する」をクリックします。



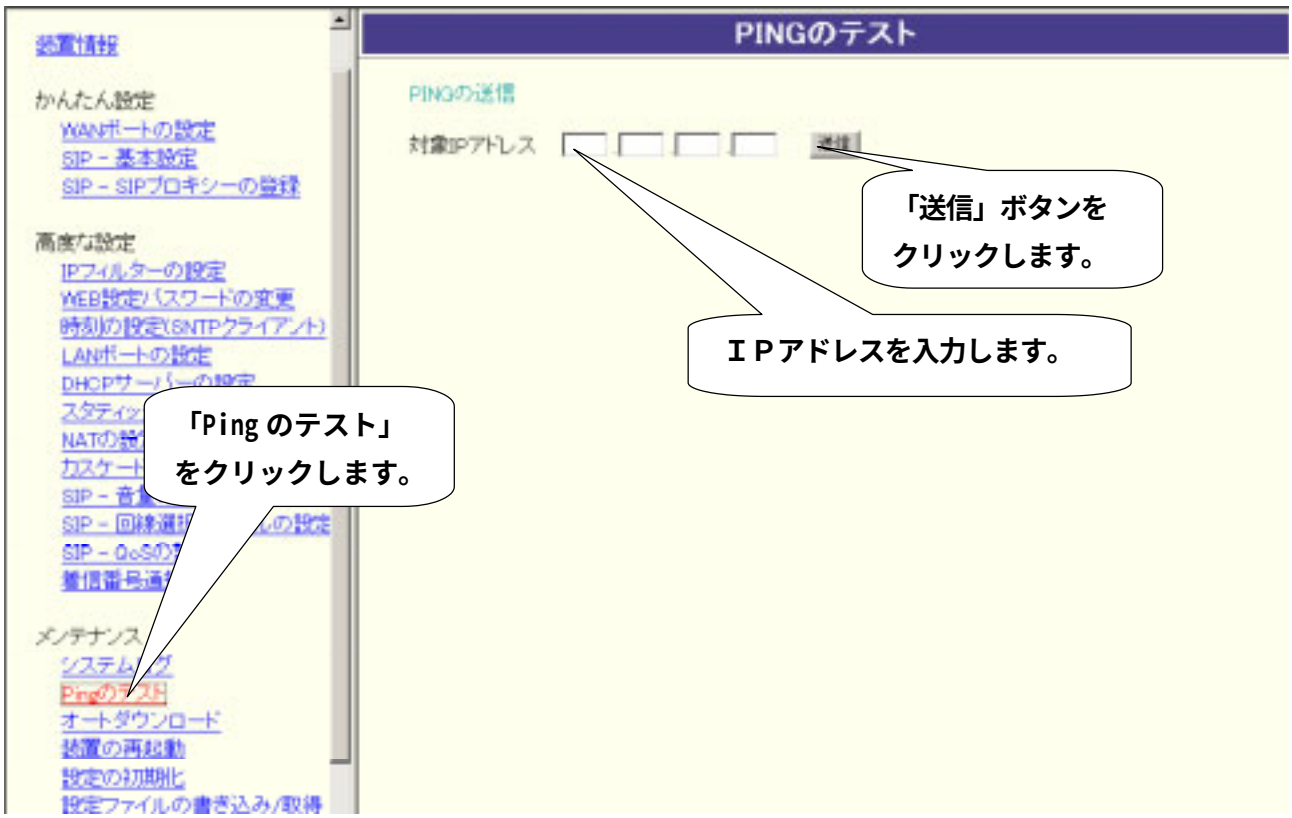
ご注意

- 本機を再起動または電源を切断しますとシステムログは消去されます。

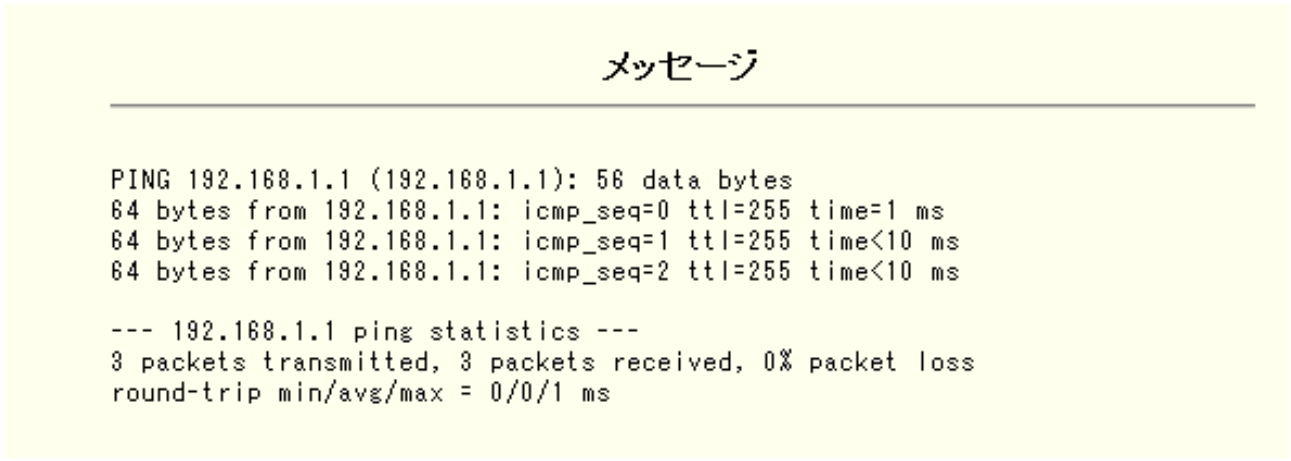
2-4-2 Ping のテスト

対象ＩＰアドレスへの ICMP ECHO-REQUEST の送信をします。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「Ping のテスト」をクリックします。
2. 「Ping のテスト」画面が表示されます。
3. ＩＰアドレスを入力して、「送信」ボタンをクリックします。



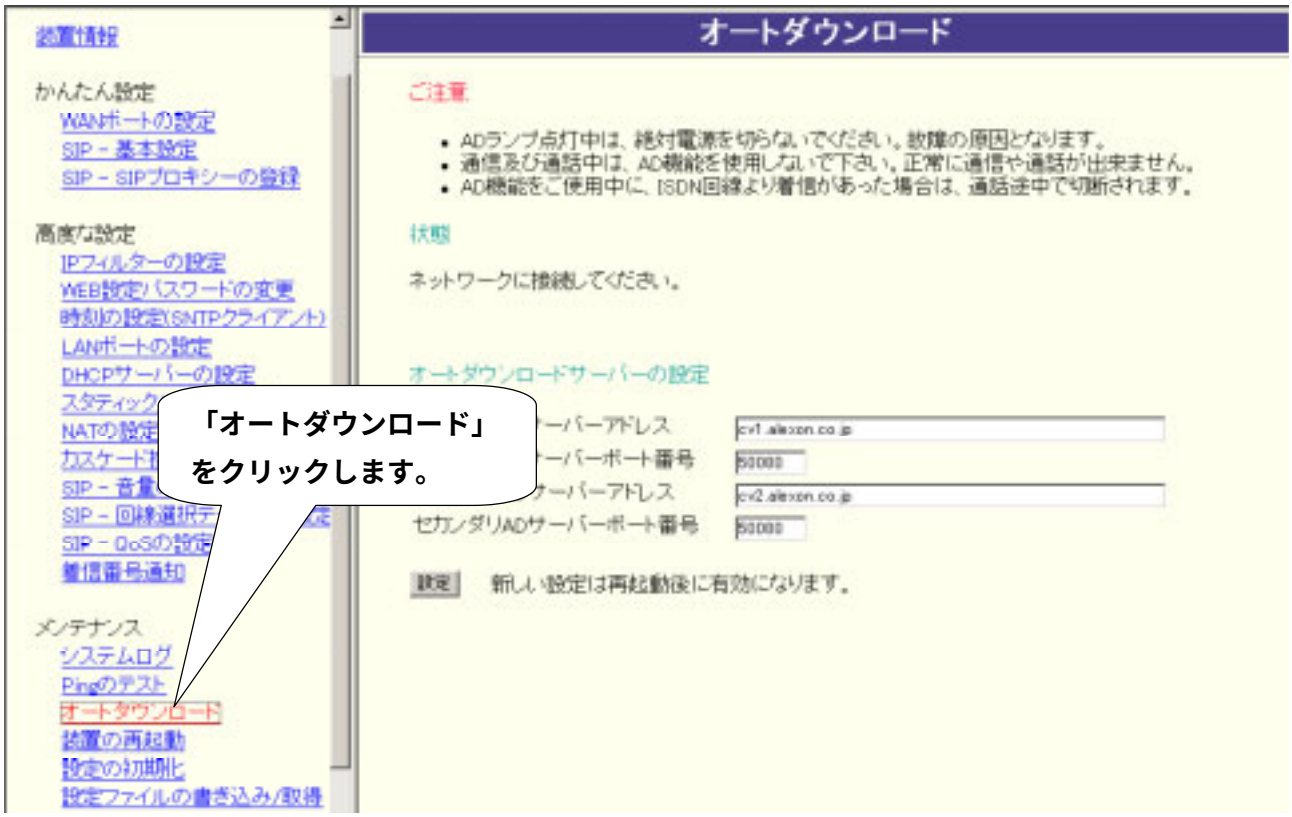
4. Ping 送信の結果メッセージが表示されます。



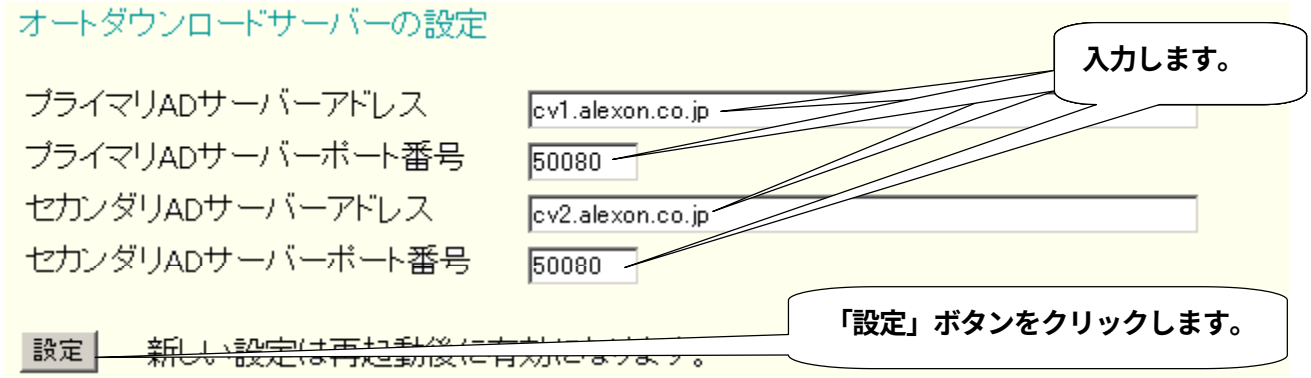
2-4-3 オートダウンロード

オートダウンロードサーバーの設定します。

1. **「操作メニュー」から「メンテナンス」の「オートダウンロード」をクリックします。**
2. **「オートダウンロード」画面が表示されます。**



3. オートダウンロードサーバーの設定を入力して、「設定」ボタンをクリックします。



4. **設定を有効にするために再起動してください。**

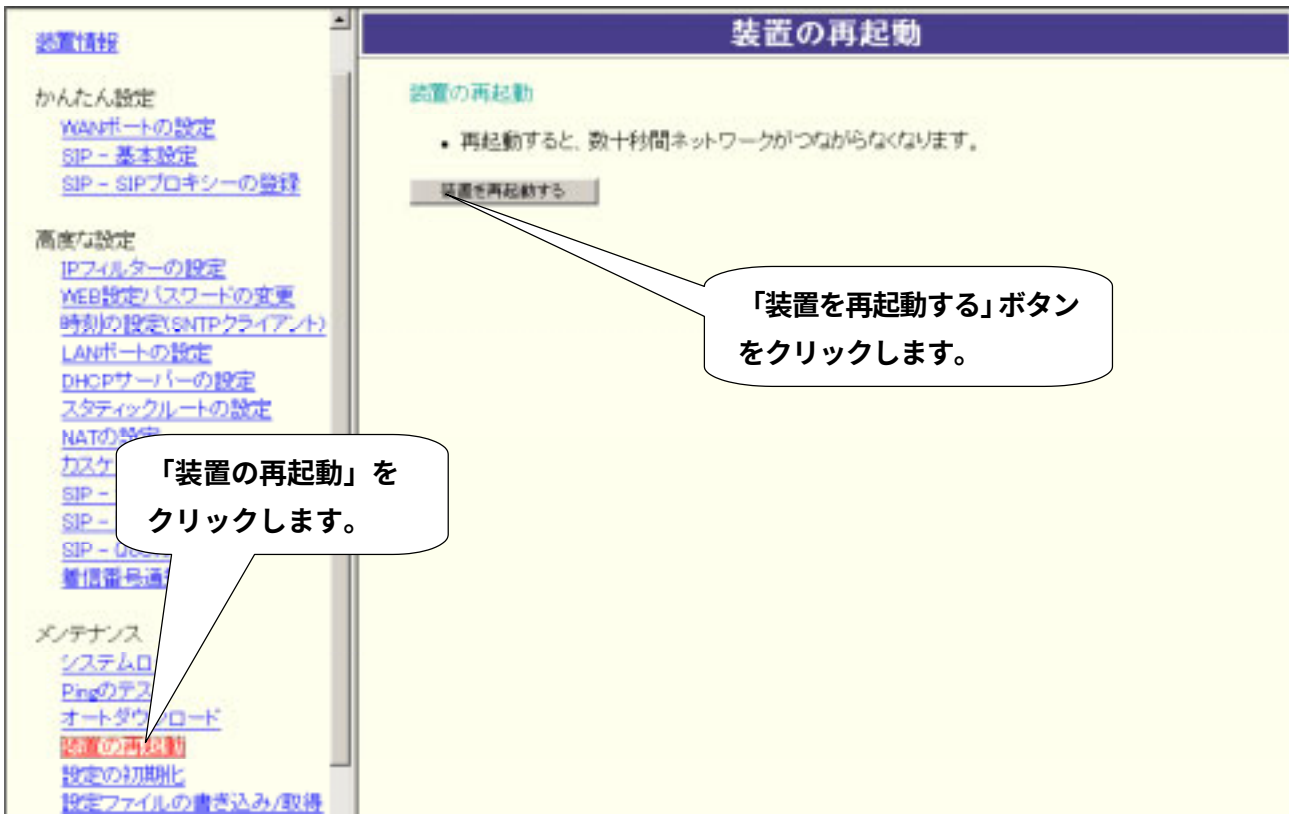
ご注意

- 弊社のＡＤサーバーに変更が発生した時のみ設定の変更をお願いします。
- ＡＤランプ点灯中は、絶対電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 通信及び通話中は、ＡＤ機能を使用しないで下さい。正常に通信や通話が出来ません。
- ＡＤ機能をご使用中に、ＩＳＤＮ回線より着信があった場合は、通話途中で切断されます。

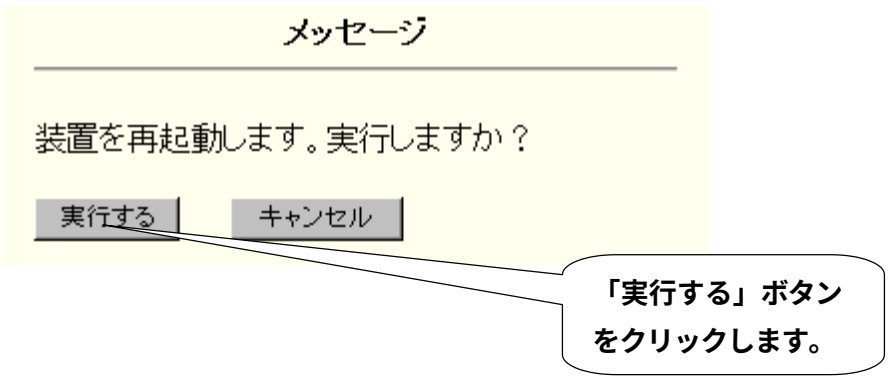
2-4-4 装置の再起動

本機の設定を有効にするために再起動します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「装置の再起動」をクリックします。
2. 「装置の再起動」画面が表示されます。
3. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。



4. 「装置を再起動する」ボタンをクリックします。



5. 本機の設定が有効になります。

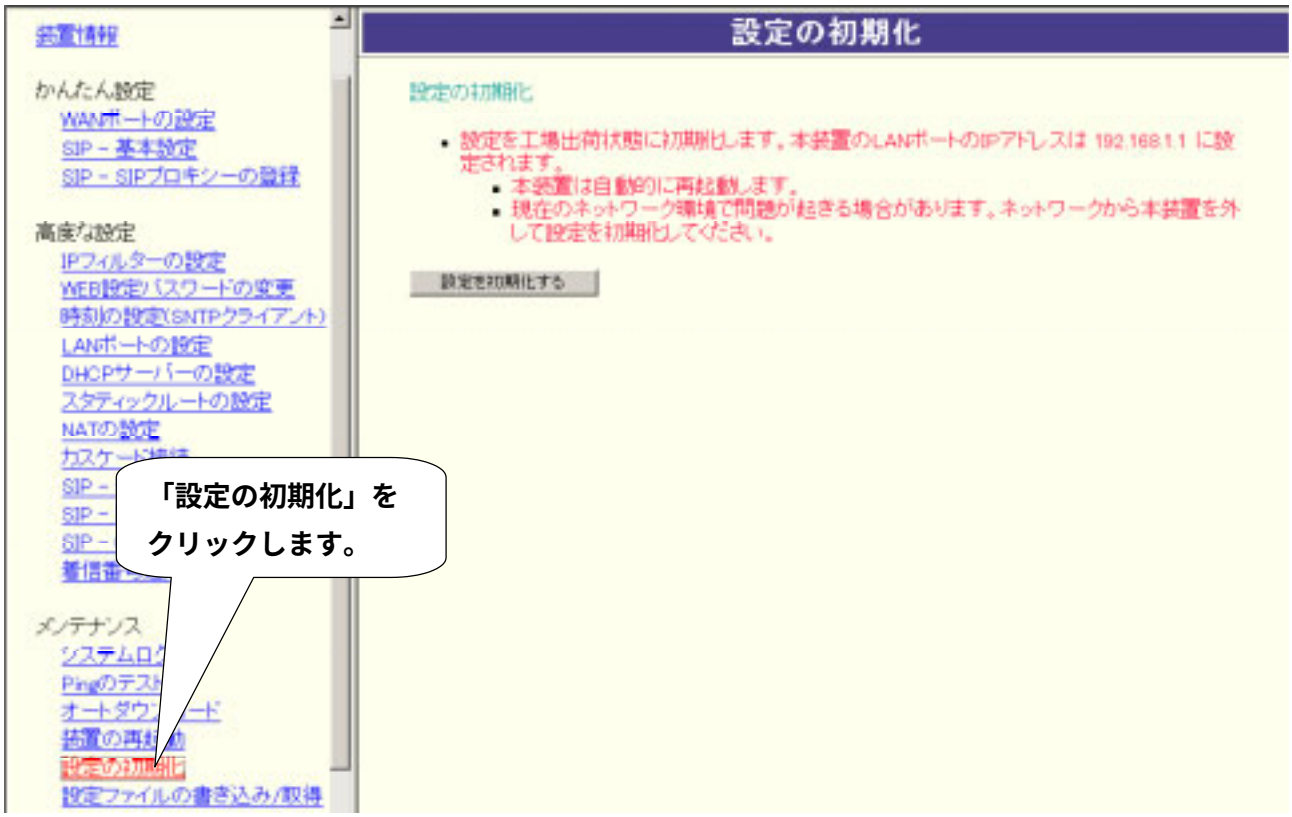
ご注意

- 再起動しますと、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
- ＳＴランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能とＷＥＢ設定は動作しません。

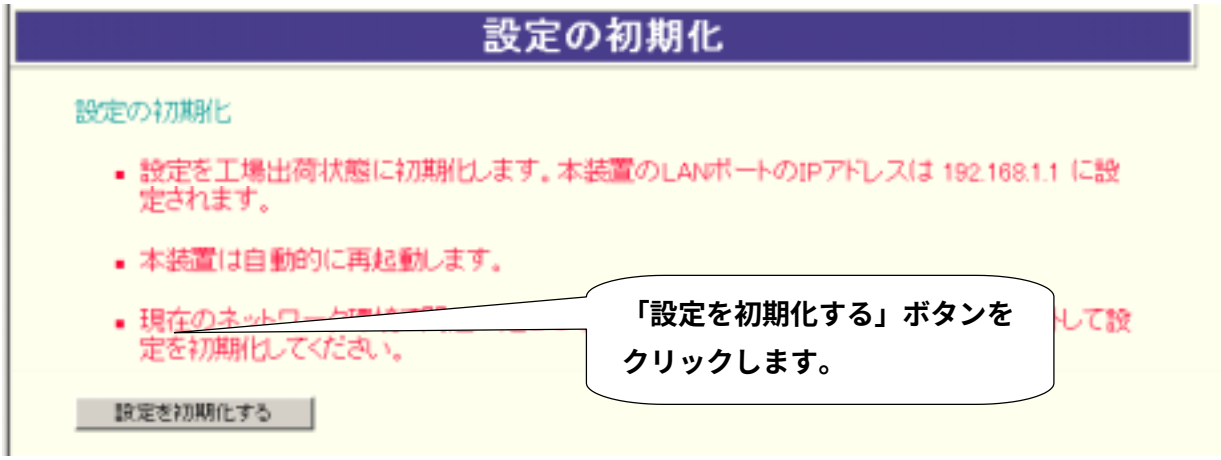
2-4-5 設定の初期化

本機の設定を工場出荷状態に初期化します。

1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「設定の初期化」ボタンをクリックします。
2. 「設定の初期化」画面が表示されます。



3. 「設定を初期化する」ボタンをクリックします。



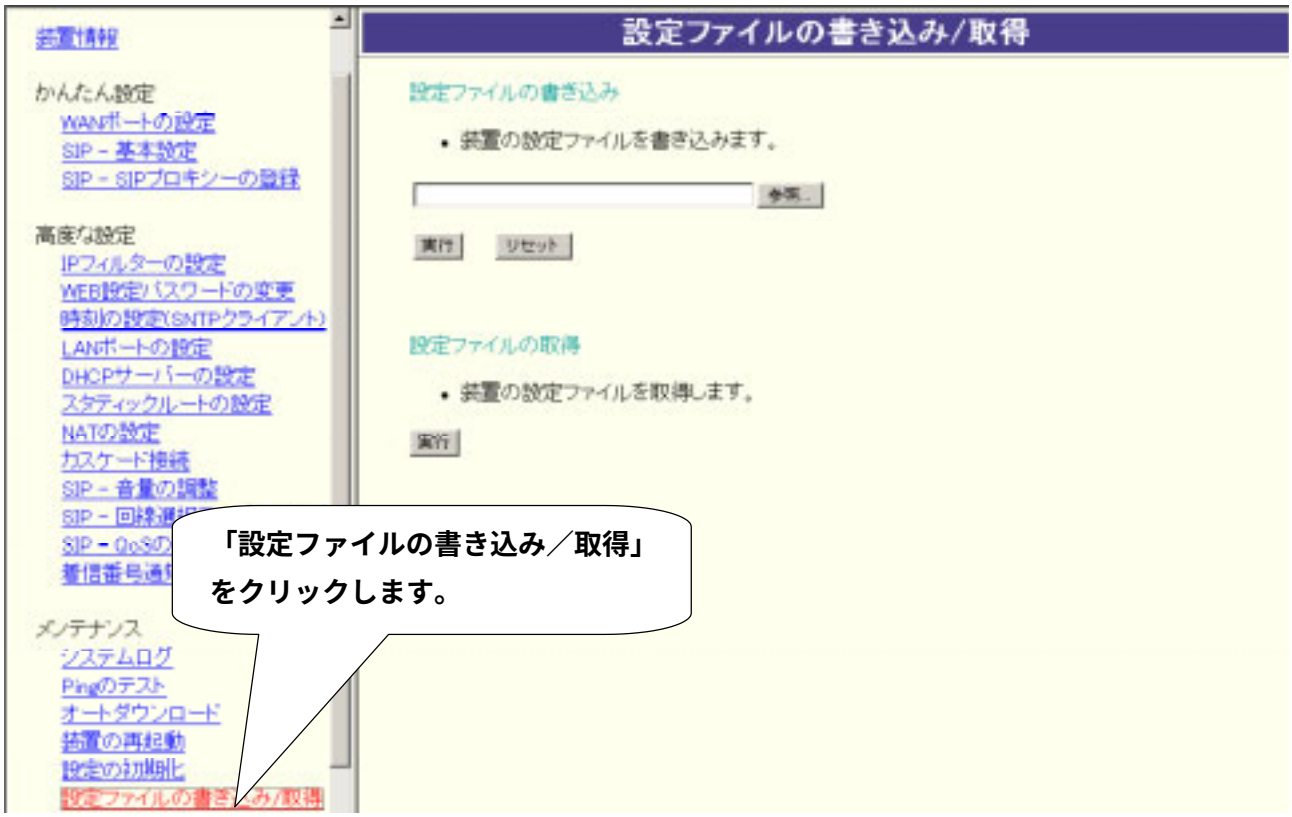
ご注意

- 初期化しますとＬＡＮポートのＩＰアドレスは 192.168.1.1 に設定されます。
- 現在のネットワーク環境で問題が起きる場合が有ります。ネットワークから本装置を外して設定を初期化してください。
- ＳＴランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能とＷＥＢ設定は動作しません。

2-4-6 設定ファイルの書き込み／取得

本機の設定情報をファイルに書き込んだり、その設定ファイルを読み込んで本機に設定できます。

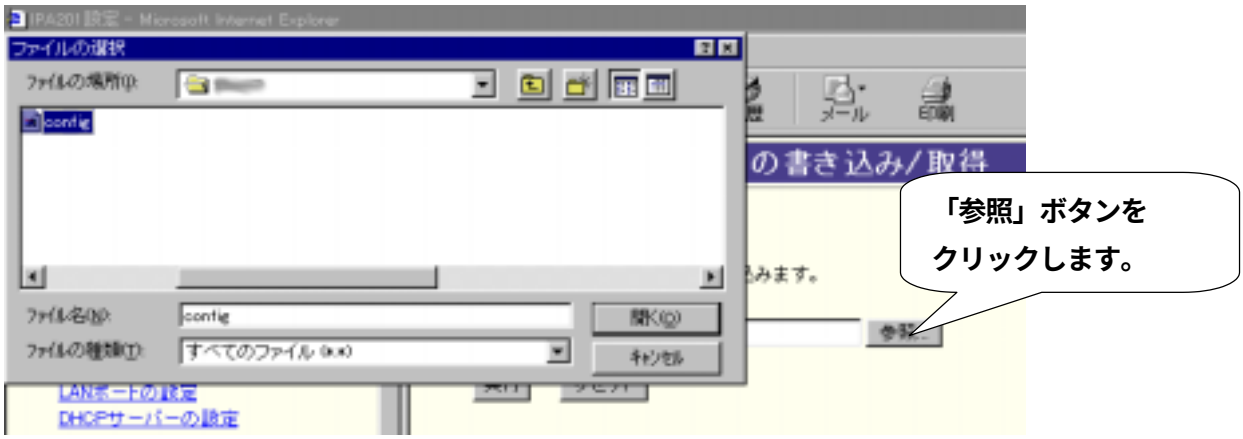
1. 「操作メニュー」から「メンテナンス」の「設定ファイルの書き込み／取得」をクリックします。
2. 「設定ファイルの書き込み／取得」画面が表示されます。



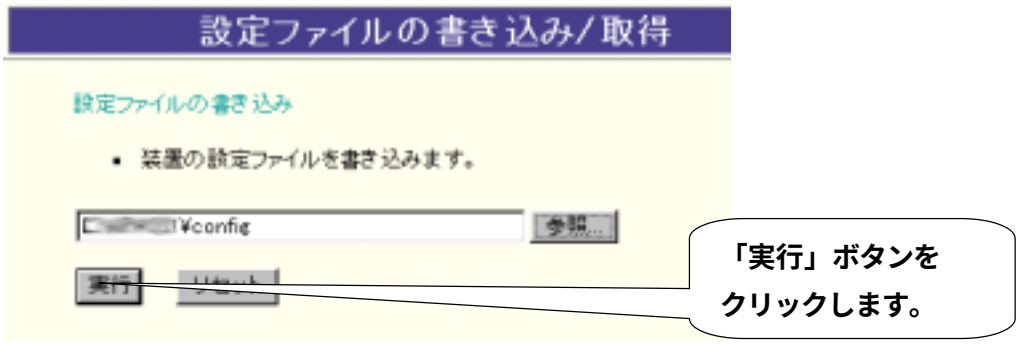
2-4-6-1 設定ファイルの書き込み

保存した設定情報を本機にアップロードして設定するこができます。

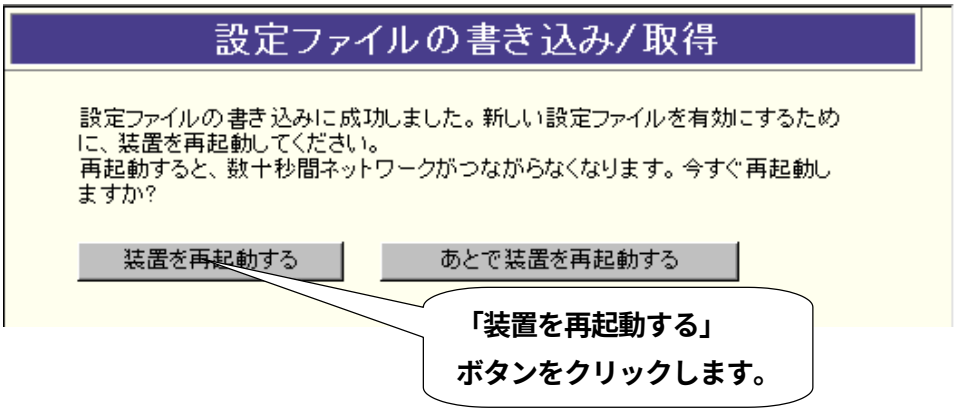
1. 「参照」をクリックします。
2. 設定ファイル（例：config）を選択して、「開く」ボタンをクリックします。



3. 「設定ファイルの書き込み／取得」画面に戻りますので、「実行」ボタンをクリックします。



4. 下記画面に変わりますので、「装置を再起動する」ボタンをクリックします。



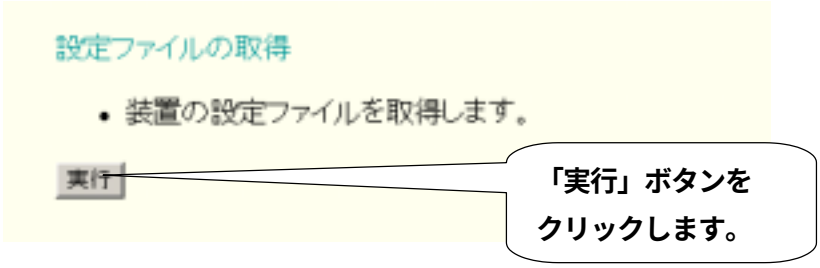
ご注意

- 再起動しますと、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
- ＳＴランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能とＷＥＢ設定は動作しません。

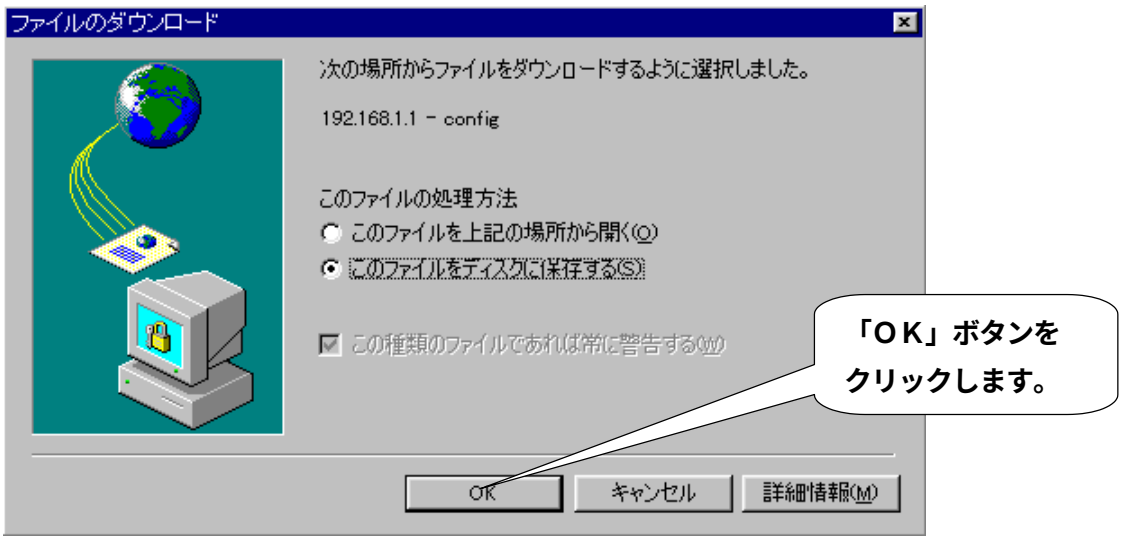
2-4-6-2 設定ファイルの取得

本機の設定情報をファイルにダウンロードして保存するこができます。

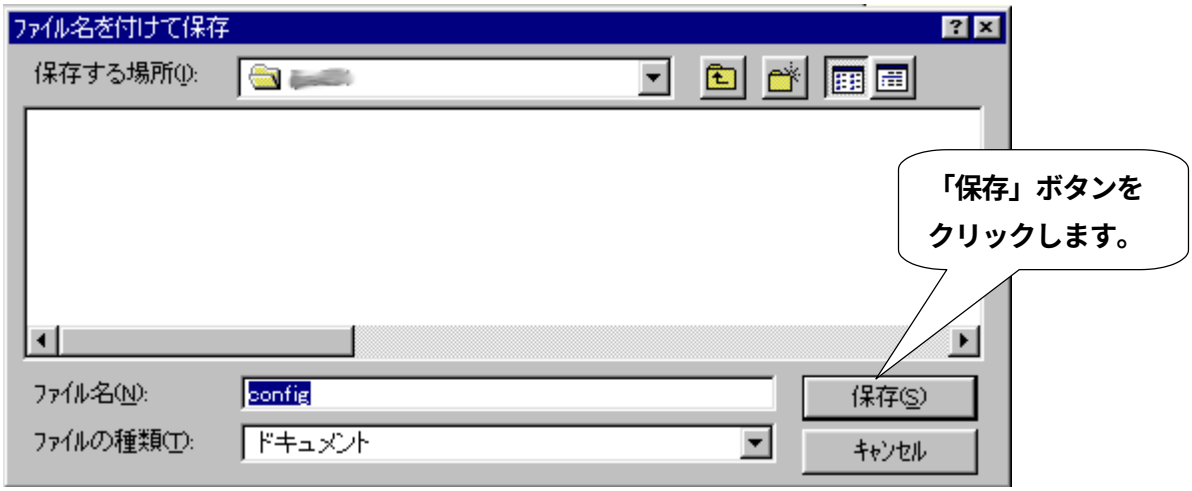
1. 「設定ファイルの取得」の「実行」ボタンをクリックします。



2. 下記画面が表示されますので、「ＯＫ」ボタンをクリックします。



3. ファイルを保存するフォルダーへ移動して、「保存」ボタンをクリックします。



4. これで設定ファイルは指定のフォルダーに保存します。

2-5 ＳＩＰ ＵＡ-ＵＡテスト

工場出荷時のテスト機能です。

設定されますと正常に機能しなくなりますので、設定されないように御願いします。

ご注意

- 工場出荷時のテスト機能です。
- この設定を行った場合、通常の動作はしません。「設定の初期化」を行ってから必要な設定を再度行ってください。
- 「設定を初期化する」ボタンをクリックしますと、設定の初期化後　自動的に再起動します。その後、数十秒間ネットワークがつながらなくなります。
- ＳＴランプ点灯してから数秒経過後までは、本機の機能とＷＥＢ設定は動作しません。

お問い合わせ先　サポートセンター　　伊丹　☎072-780-1101
受付時間：月曜～金曜　　9:20～12:00・13:00～17:00
（祝祭日、年末年始、弊社休日を除く）
http://www.alexon.co.jp/

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは、堅くお断りします。
本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

2004.12.14
TIM2079D